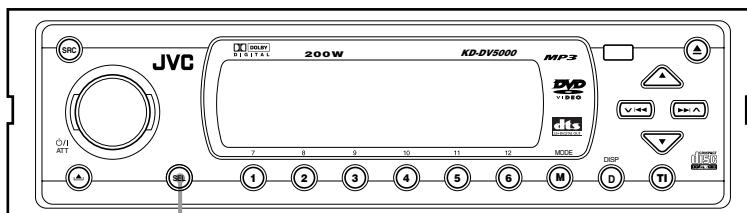
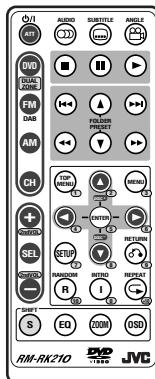


JVC

取扱説明書

DVD/CDレシーバー

型名 KD-DV5000



デモ表示について

本機にはGraphicsというデモ表示機能がついています。

20秒以上ボタン操作をしないと、自動でデモ表示になります。

解除するときは、SELボタンを2秒以上押したあと数字ボタンの1を押し、回転ボリュームを回して「Int Demo」を「Off」に切換えます。詳しくは[58]ページの「PSMモードの機能説明(1)」をご覧ください。

– お買い上げありがとうございます –

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ	ページ
● 安全上のご注意	3～5	
● 使用上のご注意	6～7	
・ ディスクの取扱いについて	7	
● 各部の名前	8～9	
● リモコンの使いかた	10～11	
・ リモコンの使いかた	10	
・ 電池の入れかた	10	
・ 各部の名前	11	
● 基本操作	12	
● 時計を合わせる	13	
● ラジオを聞く	14～18	
・ 放送局を選ぶ	14	
・ 放送局を自動でメモリー(記憶)させる	15	
・ 放送局を選んでメモリー(記憶)させる	15	
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局)	16	
・ 放送局リストから選局する	16	
・ 道路交通情報を聞く	17	
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは	17	
・ 放送受信中の表示内容を変える	18	
・ アンテナリモートについて	18	
● ディスクの予備知識	19～21	
・ 本機で再生できるディスク	19	
・ ディスクの構造	20	
・ CD-R/CD-RWディスクについて	20	
・ CDテキストについて	20	
・ MP3について	21	
● DVD/CDプレーヤーの 基本操作	22～25	
・ ディスクを再生する	22	
・ 頭出しをする(スキップ)	23	
・ ダイレクトに頭出しをする	23	
・ フォルダの頭出しをする	24	
・ 背面端子からの音声出力について	24	
・ 再生中に表示されるマークについて	24	
・ メニューから再生する	25	
● DVD/CDプレーヤーの 便利な機能	26	
・ 今見たシーンをもう一度見る	26	
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	26	
・ スローモーション再生をする	26	
● テレビ画面を見て 操作する	27～37	
・ ステータスバーについて	27	
・ メニューバーを使う	27	
・ メニューバーについて	29	
・ 指定した時間から再生する	30	
・ 指定したチャプターから再生する	31	
・ 色々な再生モードを使用する	31	
・ 音声言語/音声を切換える	34	
・ 字幕を切換える	35	
・ アングルを切換える	35	
・ 画面を拡大する	36	
・ MP3ディスクを再生する	37	
● 本体のボタンで操作する	38～44	
・ ディスクの基本操作	38	
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	38	
・ 頭出しをする(スキップ)	38	
・ ダイレクトに頭出しをする	39	
・ フォルダの頭出しをする	40	
・ プレイリストを見ながら選ぶ	40	
・ 色々な再生モードを使用する	41	
・ ディスクを取り出す	43	
・ ディスクの盗難防止	43	
・ ディスク再生中の表示内容を変える	43	
● CDチェンジャー(別売り)の CDを聞く	45～49	
・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	45	
・ CD演奏中の表示内容を変える	45	
・ 早送り/早戻しをする(サーチ)	46	
・ 頭出しをする(スキップ)	46	
・ 数字ボタンでCDを選ぶ	46	
・ フォルダの頭出しをする	47	
・ プレイリストを見ながら選ぶ	47	
・ 色々な再生モードを使用する	48	
● 他の機器の音を聞く	50	
● DVDの設定をする	51～55	
・ 設定メニューの構成について	51	
・ 基本操作	52	
・ 言語メニュー	53	
・ 映像メニュー	54	
・ 音声メニュー	55	

	ページ	ページ	
● SELボタンを使った各種設定 と調節	[56]～[61]	● 文字の入力のしかた	[68]
・ PSMモードの設定方法	[56]	● コントロールパネルの着脱	[69]
・ PSMモードの一覧	[57]	● お手入れ	[70]
・ PSMモードの機能説明(1)	[58]	・ ディスクのお手入れ	[70]
・ PSMモードの機能説明(2)	[59]	・ 本体の清掃	[70]
・ 各ソース(音源)ごとにお好みの カラーを設定する	[60]	● 故障かな?と思う前に	[71]～[74]
・ カラーを調節する	[61]	・ こんな表示のときは	[74]
● MODEボタンの使いかた	[62]	● 知っていると便利なこと	[75]～[76]
● レベルメーターの表示切換え	[63]	・ 文字配列表	[75]
● 音量の調節	[64]～[65]	・ デジタル出力信号の一覧表	[75]
・ スピーカーの音量を調節する	[64]	・ 言語コード一覧表	[76]
・ ソース(音源)ごとの音量差を調節する	[65]	● 保証とアフターサービス	[77]
● iEQの使いかた	[66]～[67]	● 主な仕様	[78]
・ 調節したEQをメモリーしておく	[67]		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示

安全上のご注意(つづき)ーはじめにお読みくださいー

!**警告**

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のまま使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中にテレビなどの画面を見たり音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス \oplus とマイナス \ominus)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。



交通安全のため、走行中はテレビの映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもサイドブレーキを引かないと、映像は表示されません。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- 直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- 雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ほこりの多い所

●安全運転のために…

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。

(使用温度範囲:0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に演奏できないことがあります。

・エアコン(暖房)を入れた直後

・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL^{ビーティーエル}*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの \ominus 側^{マイナス}が車の金属部に接続されていたり \oplus 側^{マイナス}が接続されていると故障の原因になります。

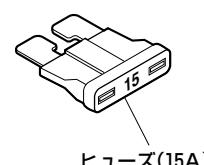
*BTL:Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

ディスクの取扱いについて

● ディスクを保管するときは

専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

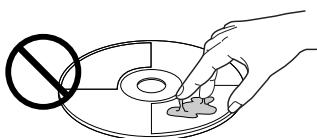
● CD-R/CD-RWの取扱いについて

CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれことがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

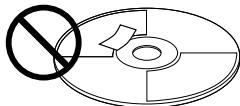
● 次のようなディスクは使用しないでください。

本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。

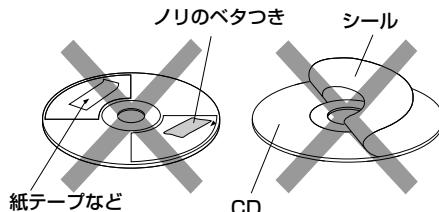
- 中古CDやレンタルCD/DVDビデオでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- レンタルCD/DVDビデオでシールが張つてあるもの(特にめくれているもの)



- 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの



- ラベル面に印刷できる
インクジェットプリンター対応CD-R
(印刷したもの)

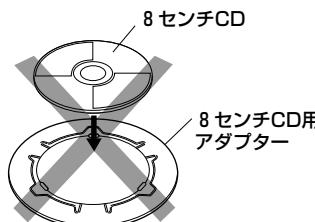
※CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

● ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。

円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

● 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。

8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間ディスクを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

各部の名前

—□の数字のページに説明があります。—

SRCボタン* □12□14□43□45□50□65

ソース(音源)が選択できます。
「TUNER(ラジオ)」のとき1秒以上
押すとバンド切換ができます。

□/I(電源)/ATTボタン □12□43□69

電源の「入」→「切」ができます。
「ポン」と押すと音量を一時的に下げる
ことができます。

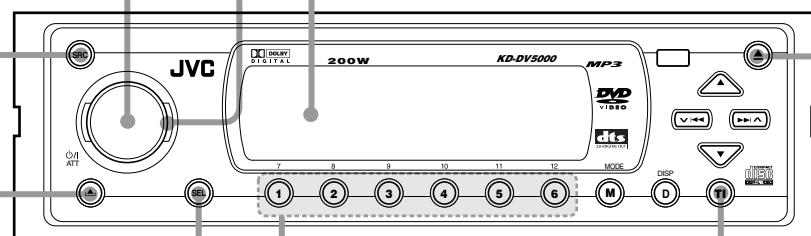
回転ボリューム □12□13□56□60□61□63□65□68

音量調節や各種の設定
ができます。

表示窓(ディスプレイ)

△(ディスク取出し)ボタン

□12□22□23□43



セレクト SELボタン

□13□56□60□61□63～□68

EQパターンやレベルメーター、
音量調節のモードが選べます。
2秒以上押すと、時計合わせ
などの各種設定モード(PSM)
になります。

数字ボタン

「DISC」

・「CD-CH(CDチェンジャー)」のとき：
1～12が機能します。□39□40□46□47

・「ラジオ」のとき：

1～6が機能します。□15□16

TIボタン* □17

道路交通情報を聞くとき使
います。

△(コントロールパネル取外し)ボタン □69

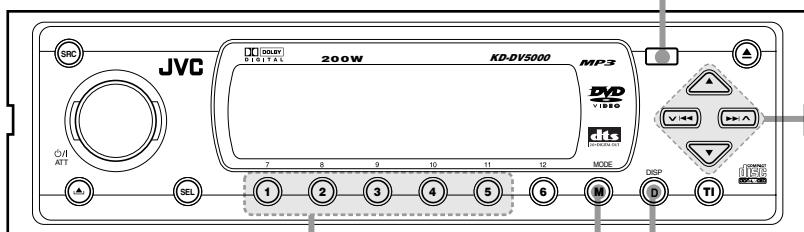
*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(▽、△)ボタン/▲、▼ボタン

ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「DISC」	「ラジオ」	「CDチェンジャー」
働き	曲の頭出しや早送り、早戻しができます。 ^{[38][39][40]} DVDビデオ/ビデオCDを再生中は▼ボタンで停止、停止中は▲ボタンで再生ができます。 ^[38] MP3ディスクを再生中は▲(または▼)ボタンで、次または前のフォルダにスキップすることができます。 ^[39]	放送局を選局するとき使います(オート選局/マニュアル選局)。 ^[14] ▲(または▼)ボタンはプリセット選局ができます。 ^[16]	曲の頭出しや早送り、早戻しができます。 ^[46] ▲(または▼)ボタンでCDを選ぶことができます。 ^{[46][47]}

リモコン受光部

モード
MODEボタン [62]

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。

ディスプレイ
DISPボタン

表示窓(ディスプレイ)の表示を変えることができます。

数字ボタン

(MODEボタンを押したとの働き)

「Mode」表示が点灯中に操作します。

- 「DISC」
「CD-CH(CDチェンジャー)」のとき : [41] [42] [48] [49]



1 イントロ
スキャン
2 リピート
演奏
3 ランダム
演奏
4 演奏モードを
解除するとき

- 「TUNER(ラジオ)」のとき (FM放送のときのみ) : [15] [17]

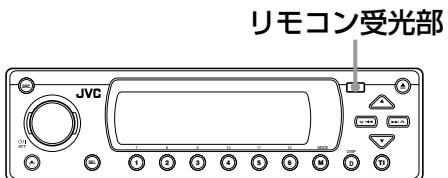


1 モノラル/オート受信
の切換
2
3
4
5
SSM
ストロングステーションメモリー

リモコンの使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないうようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR 2025:市販品)と交換してください。

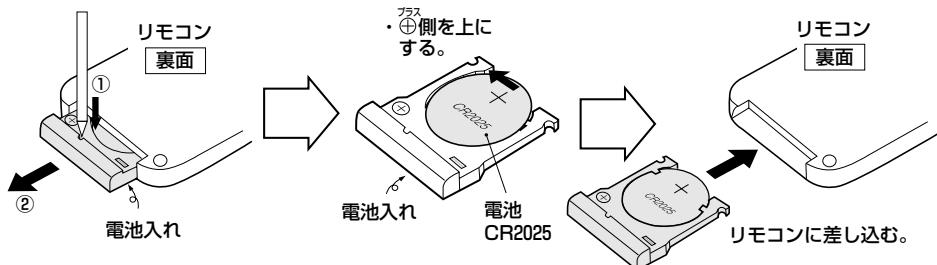


電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。

ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。



●電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。

各部の名前

① (電源) /ATTボタン

1秒以上押すと電源の「入」→「切」ができます。
「ポン」と押すと音量を一時的に下げることができます。[12]

DVDボタン/FMボタン
/AMボタン/CHボタン

ソース(音源)が選択できます。
(DUAL ZONE、DABは機能しません)[14]

SETUPボタン

DVDビデオの各種設定画面を呼び出します。[52]

+/-、SELボタン

音量の調節ができます。
(2nd VOLは機能しません)[64]

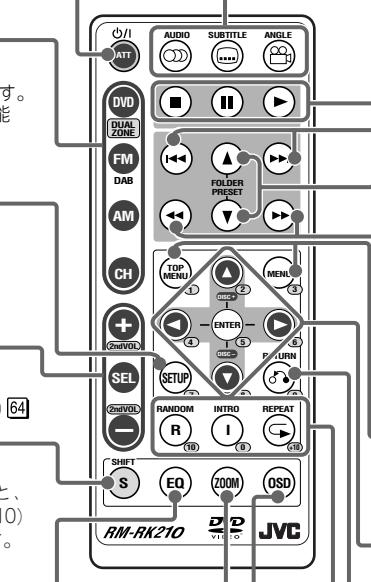
SHIFT(S)ボタン

このボタンを押しながら*印のついたボタンを押すと、数字ボタン(1~10、0、+10)として働くようになります。
[16][23][25][30]

EQボタン

押すごとにEQパターンが切替わります。[66]

AUDIO(○○)ボタン/
SUBTITLE(○○)ボタン/
ANGLE(○○)ボタン
DVDビデオやビデオCDの音声や、DVDビデオの字幕、アングルを切換えることができます。[34][35]



ZOOMボタン

DVDビデオやビデオCDで、画面が拡大できます。[36]

OSDボタン

ディスクの情報を表示するステータスバー、ディスクの操作を行なうためのメニューバーを表示させます。[27][30][31]

■(停止)ボタン/

■(一時停止)ボタン/

▶(再生)ボタン

ディスクの操作に使用します。[23][26]

◀、▶ボタン

「TUNER(ラジオ)」のとき：
選局(自動選局)ができます。[14]

「DISC」

「CD-CH(CDチェンジャー)」のとき：
曲の頭出しができます。[23][38][46]

FOLDERボタン/ PRESETボタン/

▲、▼ボタン

「TUNER(ラジオ)」のとき：
プリセット選局ができます。[16]

「DISC」

「CD-CH(CDチェンジャー)」
MP3ディスクのフォルダ選択ができます。[24][37][47]

◀、▶ボタン

ディスクの早送りや早戻し、
スローモーション再生ができます。[26]

TOP MENUボタン*/
MENUボタン*

DVDビデオのとき、メニュー画面を呼び出することができます。[25]

カーソル(◀/▶/▲/▼)ボタン*/
ENTERボタン*

テレビ画面上での選択、決定の操作に使用します。[25][26][30][31][36][37][52]

RETURN(△)ボタン*

DVDビデオやPBC対応のビデオCDを操作するときに使用します。[25]

RANDOM(R)ボタン*/

INTRO(I)ボタン*/

REPEAT(⌚)ボタン*

ディスクの再生モードを切換えることができます。

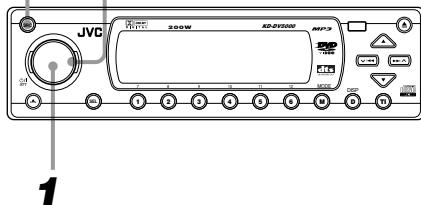
[31][32][33][37]

基本操作

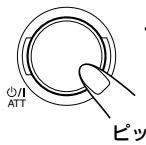
準備

- 車のエンジンをかける。本機はエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません。

2 3



1 オン(電源)/ATTボタンを押し て電源を入れる



- 表示窓が点灯し、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ



- ボタンを押すごとに、ソース(音源)が切換わります。

「TUNER(ラジオ)」→「DISC」*1
「CD-CH(CDチェンジャー)」*2

*1 本機にDVDビデオまたはビデオCD、CD、MP3ディスクが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

・「Ext Input」をライン入力のソース(音源)に切換えていると、「CD-CH」の代わりに「LINE IN」が表示されます。→[59](#)ページ参照

3 回転ボリュームを回して音量 を調節する



- 調節範囲
Volume 0～Volume 50
(初期設定 Volume 15)

• 音量を一時的に下げる

オル(電源)/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

• 本機でコントロールできるチェンジャーについて

CH-MPシリーズのMP3チェンジャーをお勧めします。CH-X99を除くCH-XシリーズのCDチェンジャーのコントロールもできます。ただし、KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

• 電源を「切」にする



オル(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。
パワーオフアニメが表示され電源が切れます。

・1秒以上押す。

• 車のエンジンキーが「OFF」でも 次のボタンは、操作できます。

- ▲(ディスク取り出し)ボタン
…ディスクの出し入れとパネルの開閉
- △(コントロールパネル取り外し)ボタン
ただし、電源を入れることはできません。

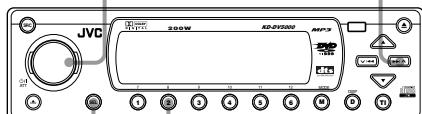
〈お知らせ〉

- 音量の調節は \square ページをご覧ください。

時計を合わせる

時計を合わせる

3-1・3-5



1・4 2

1 SELボタンを2秒以上押す



・PSMメニューが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

2 数字ボタンの2を押して 「Clock」を選ぶ



・「Clock Hr」が表示されます。CLOCKがCLOCKに変わります。

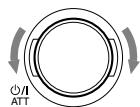


15秒以内に

3 回転ボリュームと▶▶ボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる

3-1 「時」を7に合わせる



「時」表示 「分」表示

7:00 →

「時」
を戻す

「時」を
進める

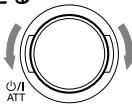
3-2・4

3-2 「Clock Min」を選び…



「分」を戻す

3-3 「分」を30に合わせる



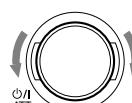
「分」を進める

7:30

3-4 「24H/12H」を選び…



3-5 「24Hours」または 「12Hours」を選択する



「12Hours」
12時間
表示方式
「24Hours」
24時間
表示方式

4 SELボタンを押す



・元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

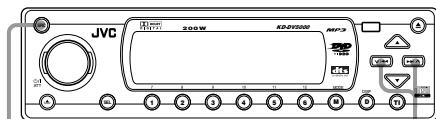
〈お知らせ〉

- ・本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- ・時刻を合わせ直すときも手順1～4の操作をします。
- ・SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、56～61ページをご覧ください。

右上へ続く

ラジオを聞く

放送局を選ぶ



1・2

3

1 SRCボタンを押してソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にする



ボタンを押すごとに、ソース(音源)が切換わります。

「TUNER(ラジオ)」→「DISC」*1
「CD-CH(CDチェンジャー)」*2

*1 本機にDVDビデオまたはビデオCD、CD、MP3ディスクが入っているときのみ

*2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

・「Ext Input」をライン入力のソース(音源)に切換えていると、「CD-CH」の代わりに「LINE IN」が表示されます。→[50]ページ参照

2 SRCボタンを1秒以上押してバンドを選ぶ



・SRCボタンを1秒以上押すごとにバンドが切換わります。

・1秒以上押す。

FM1 → FM2 → AM1
AM2

リモコンで操作する



FMまたはAMボタンを押します。

- ・FMボタンを押すごとにFM1→FM2が交互に切換わります。
- ・AMボタンを押すごとにAM1→AM2が交互に切換わります。

14

3 選局ボタン(▽または△)を押して選局する



周波数が
下がる。

周波数が
上がる。

- ・オート選局: 「ポン」と押して離す。
(シーク) 「SEARCH」が表示され本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- ・マニュアル選局: 1秒以上押して「Manual Search」を点滅表示させた後、「ポン・ポン」と押して選局する。
 - ・FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

リモコンで操作する



◀または▶ボタンを押します。

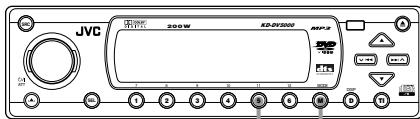
ボタンを押すと、オート選局が始まります。

お知らせ

- ・受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- ・マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- ・AM放送はモノラル受信です。

放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—



2 1

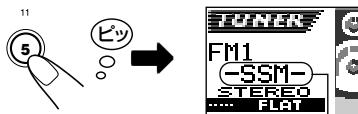
1 MODEボタンを押す(FM放送のときのみ)



- 「Mode」表示が点灯し、カウントダウンが始まります。

5秒以内に

2 数字ボタンの5を1秒以上押す



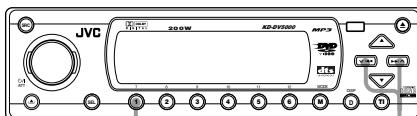
- 1秒以上押す。 終わるまで表示されます。
- SSM機能により本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの1~6にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタンの1に記憶された放送局が表示されます。
- FM 1(またはFM 2)ごとに6局ずつメモリーできます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにFM1またはFM2にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないと、メモリーされなかった番号には以前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→[16](#)ページ参照

放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



2 1

例: FM放送の81.3 MHzを数字ボタンの1にメモリーする

1 選局ボタン(▽または△)でFM81.3MHzを選局する

→[14](#)ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの1を2秒以上押す



- 押した数字ボタンと同じプリセット数字が表示されるとメモリーされます。



- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの操作でメモリーしてください。

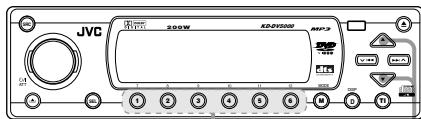
〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。

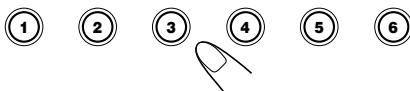


1a

1b

1a 数字ボタン(1~6)を押しで選局する

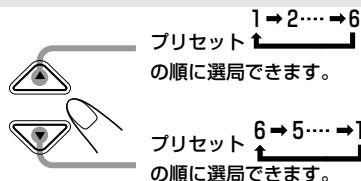
(プリセット選局といいます)



● 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。

(数字ボタンは2秒以上押し続けないで)
(ください)

1b ▲(または▼)ボタンを押しで選局する



リモコンで操作する

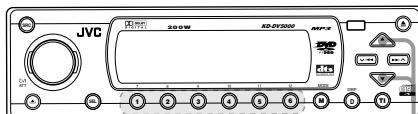
SHIFT(S)ボタンを押したまま、数字ボタン(1~6)を押します。



- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
- 本体の操作と同様に、PRESETボタンで選局することもできます。

放送局リストから選局する

プリセットした放送局を一覧表示してから選局することもできます。



2

1

1 ▲(または▼)ボタンを1秒以上押して、プリセットされている放送局リストを表示させる



例: FM 1のとき

• 1秒以上押す。



・放送局リスト表示中に▲(または▼)ボタンを押すと、バンドごとに表示が切換えられます。

・FM 1のとき
FM 1リスト

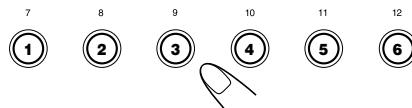
・AM 1のとき
AM 1リスト

FM 2リスト
AM 2リスト

・放送局名を入力している場合(→68ページ参照)は、周波数の代わりに放送局名が表示されます。

5秒以内に

2 数字ボタンを押して選局する

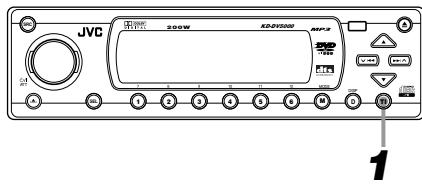


ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)した放送局は取り消されます。また時計表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

道路交通情報を聞く

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。



1 TIボタンを押す



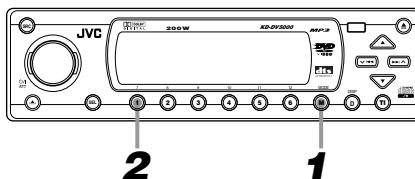
聞きたいところでTIボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620 kHzが受信できます。



- AM1629 kHzで道路交通情報を放送しているときは、▲または▼ボタンを押して選局します。
- TIボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しております。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「Mono On」に切換えます。



1 MODEボタンを押す



・「Mode」表示が点灯し、カウントダウンが始まります。

5秒以内に

2 数字ボタンの1を押す



・ボタンを押すごとに「Mono On」と「Mono Off」が交互に切換わります。

「Mono On」にすると表示窓に「MONO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。

電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「Mono Off」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示されます。



MONOが点灯します

ラジオを聞く(つづき)

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、押すごとに表示内容を変えることができます。

受信周波数表示(小)



受信周波数表示(大)

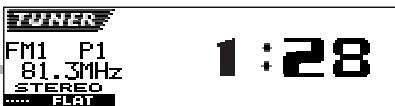


放送局名表示



放送局名*

時計表示



* 放送局名を入力していないときは「NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

〈お知らせ〉

- 放送局名を入力するときは回ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局すると同じ放送局名が表示されます。

アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブースター装備車の場合は、[アンテナコントロール電源]コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を「TUNER(ラジオ)」にすると自動的にアンテナ(ブースター)側に電源が供給されます。「CD-CH」や「DISC」などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。
(アンテナコントロール電源)コードの
最大コントロール電流は250mAです)

ディスクの予備知識

本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは以下のとおりです。

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
	音声 + 映像	12センチ
		8センチ
	音声 + 映像	12センチ
		8センチ
	音声	12センチ
		8センチ

音楽用のCDフォーマット、MP3フォーマットで記録したCD-RおよびCD-RWディスクも再生できます。

ただし、ディスクの特性や記録状態によっては、再生できないこともあります。

●再生できないディスク

- DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、CD-ROM、フォトCD、SACD

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CDグラフィックス、CDエキストラの場合、音声のみ再生できます。

<お知らせ>

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 本機は、マクロビジョン方式のコピーカードに対応しています。コピー禁止信号の入っているディスクはVTRで録画できません。

●リージョン番号(ローカル番号)について

DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号がついています。この番号がDVDプレーヤーのリージョン番号と合致しないと再生できません。本機のリージョン番号は「2」ですので、DVDのディスク上に「2」という番号が含まれているディスクに限り再生することができます。

本機で再生できるディスクの表示例



●テレビ方式について

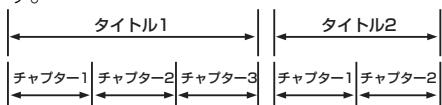
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式(PALなど)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

ディスクの予備知識(つづき)

ディスクの構造

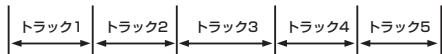
■ DVDビデオ

多くのDVDビデオは、「タイトル」と呼ばれるいくつかの大きな項目から構成されています。また、タイトルはさらに「チャプター(章)」という小さな項目に分割されています。タイトルとチャプターにはそれぞれ番号(タイトル番号、チャプター番号)が付けられていて、それらを選んで再生を始めることができます。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。



■ ビデオCD/オーディオCD

ビデオCDやオーディオCDは、「トラック」と呼ばれる項目から構成されていて、それぞれのトラックには番号(トラック番号)が付けられています。たとえば2曲目は、「トラック2」となります。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。また、「インデックス」と呼ばれる頭出しマークが記録されているディスクもあります。(本機はインデックス・マークの頭出し機能には対応していません)



■ MP3ディスク

MP3ディスクには、それぞれの曲または映像が「ファイル」として記録されています。また、複数のファイルをジャンル別、アーティスト別などの「フォルダ」にまとめて分類できます。さらに「フォルダの中にフォルダ」を作ることによりフォルダ/ファイルの階層構造をつくることができます。この階層は、パソコンにおけるフォルダ/ファイルの階層と同じです。



CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクおよびMP3ファイルで記録されているディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏が始まるまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 本機は半角の英数字(1バイト)に限り対応しております。日本語などの全角文字(2バイト)は表示できません。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機では正しく表示されないことがあります。

CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

MP3について

MP3とは

MP3(MPEG Audio Layer 3の略)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元の音楽データを約10分の1に圧縮できます。詳しくは別冊の「**音楽用ファイルMP3について**」をご覧ください。

●再生できるメディア

本機はMP3形式のCD-ROMまたはお客様が編集されたCD-R(レコーダブル)、CD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。

ディスクは**ISO9660**レベル1およびレベル2でフォーマットされたものが再生可能です。本機ではマルチセッション対応で記録したディスクも再生できます。必ずセッションクローズ処理をしてください。

●ID3 Tagについて

ID3 Tagのバージョン1.0と1.1(アルバム名、アーティスト名および曲タイトル)を表示することができます。文字種は半角の英数字です。なお、**ID3 Tag**のバージョン2には対応しておりません。

●ファイル名とフォルダ名の入力

表示できる文字種は、半角英数文字と半角英字記号です。(半角カナ、ひらがな、漢字および全角の英数文字が含まれていると、**FOLDER 01**または**TRACK 01.mp3**などと表示されます。ただし、**Joliet**形式の場合**FOLDER 01**または**TRACK 01.mp3**などと表示されないことがあります)。また、**MP3**ファイルと認識されて再生できるファイルは、**MP3**の拡張子*(**.MP3**)がついたものだけです。

〈お知らせ〉

- 拡張子(**.MP3**)は、必ず半角で入力してください。全角で入力すると、**MP3**ファイルとして認識されません。
- 詳しくは、別冊の「**音楽用ファイルMP3について**」をご覧ください。

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

フォーマット名の後の文字数は、ファイル名につけられる最大文字数(区切り文字「.」と拡張子**MP3**を含む)で**ISO9660**では1バイト文字を使用したときの文字数です。

- **ISO9660**レベル1 : 12文字
- **ISO9660**レベル2 : 31文字
- **Romeo** : 128文字
- **Joliet** : 64文字
- **Windows**拡張 : 128文字

ただし本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

・最大フォルダ数:99

・1フォルダ内の最大ファイル数:150

上記のフォーマット以外で書き込まれた**MP3**ファイルは、正常に再生できなかったりファイル名/フォルダ名が正しく表示されないことがあります。

またライティングソフトによってフォーマットの設定方法が異なることがあります。このようなときは、ライティングソフトのフォーマット設定をもう一度確認のうえ、その取扱説明書に従って正しく設定し直してください。

●圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbpsの固定」を推奨します。また最大容量まで記録するときは、追記禁止の設定をしてください。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録するときは「**Disc at Once**」の設定をしてください。

* 拡張子とは

ファイルの種類や記録形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。

DVD/CDプレーヤーの基本操作

ここでは、主にリモコンのボタンを使っての操作説明をします。本体のボタンでディスクを操作したいときは、**[33]～[44]**ページをご覧ください。また、ディスクの種類によって、使えない機能もあります。ここでは、機能ごとに次のマークを示し、どの種類のディスクで操作ができるのかをお知らせしています。



●ディスクを再生する前に

- DVDビデオやビデオCDの映像ソフトをご覧になるときは、テレビの電源を入れ、テレビ側で正しい映像入力を選んでください。また、CDやMP3ディスクの演奏を聞く場合も、テレビの画面を見ながら操作できます。
- DVDビデオの音声や字幕などは、「設定メニュー」であらかじめ設定しておくことができます。設定メニューで設定を変更したいときは、**[5]～[6]**ページをご覧ください。

<お知らせ>

- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。

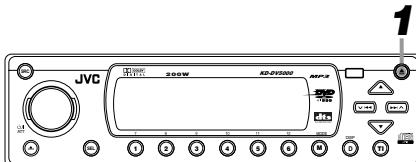
本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。

このようなときは、テレビ画面に「**①**」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

- Mixed-CDで記録されている場合、1曲目が「00'00」表示のままで再生しません。数字ボタンなどで2曲目以降にスキップすると、再生します。

Mixed-CDについては別冊の「**音楽用ファイルMP3について**」をご覧ください。

ディスクを再生する

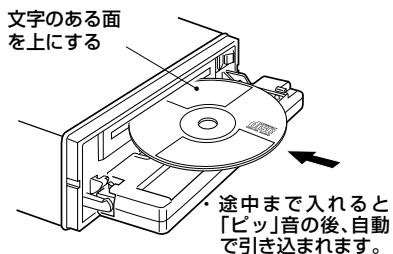


1 ▲(ディスク取り出し)ボタンを押す



- コントロールパネルが開いてディスクの挿入口が現われます。

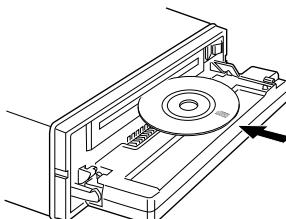
2 ディスクを入れ、コントロールパネルパネルを閉める



- ソース(音源)が「DISC」になり再生が始めります。
- 「Now Reading」表示中は、ディスクのデータを読み込んでいます。読み込みが終わると、再生が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ディスクによっては、再生開始後にメニュー画面が表示されることがあります。メニュー画面での操作については**[7]**ページをご覧ください。

●8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押して入れます。



●再生を一時停止する

リモコンのII(一時停止)ボタンを押します。
再生が一時停止になります。DVDビデオとビデオCDの場合は、静止画が表示されます。
再生を再開するには▶(再生)ボタンを押します。
・DVDビデオとビデオCDの場合、IIボタンをくり返し押すと画像が1コマずつ再生できます。

●再生を停止する

リモコンの■(停止)ボタンを押します。

再生が停止します。

MP3ディスクを除くディスクの場合、停止した位置が記憶されます。▶(再生)ボタンを押すと、停止した位置から続きを再生されます(リピューム再生)。

●ディスクを取り出す

▲(ディスク取り出し)ボタンを押すと、ディスク挿入口が現われディスクが出てきます。
ディスクを入れる前のソース(音源)に戻ります。

・ディスクを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます。

頭出しをする(スキップ)

前後のチャプター(DVDビデオ)やトラック(ビデオCD/CD/MP3ディスク)の頭にスキップすることができます。

・DVDビデオ :再生中(一時停止中)に
・ビデオCD/CD/MP3ディスク:いつでも



▶: 押すごとに次のチャプター/トラックの頭に移ります。

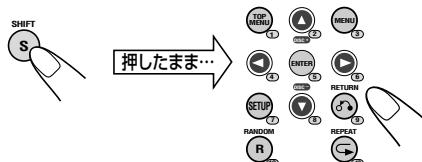
◀: 再生中のチャプター/トラックの頭に戻ります。
押すごとに前のチャプター/トラックの頭に戻ります。

ダイレクトに頭出しをする

タイトルやチャプター(DVDビデオ)、トラック(ビデオCD/CD/MP3ディスク)を数字ボタンで指定し、そこから再生を始めるすることができます。

- ・DVDビデオ :再生中(一時停止中)に
-チャプターが選べます。
停止中に
-タイトルが選べます。
- ・ビデオCD :PBCがオフのときに
- ・CD/MP3ディスク :いつでも

リモコンのSHIFT(S)ボタンを押したまま、数字ボタン(1~10,+10)を押します。



番号の選びかた

・1~10を選ぶ

その番号の数字ボタンを押します。

・11以上を選ぶ

+10ボタンを先に押してから1~10のボタンを押します。

例)番号「5」を選ぶ : 5を押す。

番号「10」を選ぶ : 10を押す。

番号「23」を選ぶ : +10→+10→3と押す。

<お知らせ>

- ・PBCがオンのビデオCDが停止中に、トラックをダイレクトに選ぶと、PBCがオフになって再生が始まります。→図ページ参照
- ・一時停止中にチャプターやトラックを選ぶと、再生は自動的には始まりません。

DVD/CDプレーヤーの基本操作(つづき)

フォルダの頭出しをする

フォルダの頭にスキップすることができます。



FOLDER▲または▼ボタンを押します。



- ▲ : 押すごとに次のフォルダの頭に移ります。
- ▼ : 再生中のフォルダの1つ前のフォルダの頭に戻ります。

背面端子からの音声出力について

・ビルトインスピーカー用端子

ステレオの音声を出力します。

マルチチャンネルのディスクを再生した場合は、マルチチャンネルの音声は左右のスピーカーにダウンミックスして出力されます。

・DIGITAL OUT端子

デジタル信号(リニアPCM、ドルビーデジタル*1、DTS*2)はこの端子から出力されます。

ドルビーデジタルやDTSデジタルサラウンドをお楽しみになりたい場合は、マルチチャンネル信号に対応した市販のアンプまたはデコーダーを接続し、「デジタルOUT」の設定をしてください。

→[図](#)ページ参照

再生中に表示されるマークについて

ディスクを再生していると、次のようなマークがテレビ画面に一時的に表示されることがあります。

本機やディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。このマークが表示されなくとも、状況によっては操作ができないことがあります。

以下のマークはオンスクリーンガイドといいます。

: 再生を開始すると表示されます。

: 停止すると表示されます。

: 一時停止すると表示されます。

/

: 早送り/早戻しをすると表示されます。

/

: スローモーション再生をすると表示されます。

: 複数の音声言語が収録されている場面で表示されます(→[図](#)ページ参照)。

: 複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます(→[図](#)ページ参照)。

: 複数のアングルが収録されている場面で表示されます(→[図](#)ページ参照)。

*1 Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

*2 DTSおよびDTS Digital Outは、デジタルシターシステムズ社の商標です。

メニューから再生する

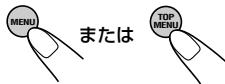
DVDビデオのメニュー、ビデオCDのPBC(プレイバックコントロール)を使って、タイトル、チャプターまたはトラックを指定し、再生することができます。



DVDビデオのメニューから選ぶ

DVDビデオには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面の内容はさまざま、映画のタイトルや曲目、あるいはアーティスト情報が表示されたりします。このメニュー画面から見たいところを選ぶことができます。

1 MENUボタンまたはTOP MENUボタンを押す

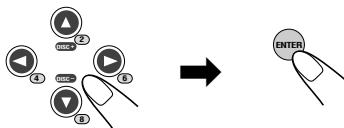


または



・メニュー画面
が表示されます

2 カーソル(▲/▼/▶/◀)ボタン を使って見たい映像や項目を 選び、ENTERボタンを押す



選んだところから再生されます。

・メニュー画面によっては数字ボタン
を押すだけで見たい映像や項目を選
ぶことができます。

- ひとつ前のメニュー画面に戻したいときは
RETURN(戻)ボタンを押します。

- メニュー画面を消す
MENUボタンまたはTOP MENUボ
タンを押します。

ビデオCDのメニューから選ぶ

PBC(プレイバックコントロール)が記録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たいところを選ぶことができます。

リモコンのSHIFT(S)ボタンを押したまま数字ボタン(1~10,+10)を押し、見たいところの番号を選ぶ

選んだ番号のところが再生されます。



番号の選びかた

・1~10を選ぶ

その番号の数字ボタンを押します。

・11以上を選ぶ

+10ボタンを先に押してから1~10のボタンを押します。

例)番号「5」を選ぶ：5を押す。

番号「10」を選ぶ：10を押す。

番号「23」を選ぶ：+10→+10→3と押す。

- ひとつ前のメニュー画面に戻したいときは
RETURN(戻)ボタンを押します。

・PBCをオフにする

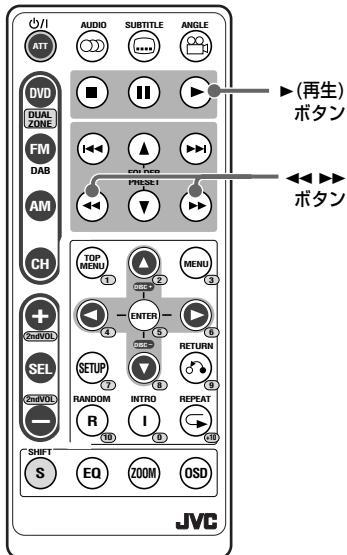
■(停止)ボタンを押して再生を停止した後、数字ボタンで見たいトラック番号を指定します。

PBCがオフになり、選んだトラックから再生が始まります。

・PBCをオンにする

MENUまたはTOP MENUボタンを押します。

DVD/CDプレーヤーの便利な機能



早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、見たい場面や聞きたいフレーズに素早く移動できます。

- ・全てのディスク:再生中に

▶または◀ボタンを押します。



ボタンを押すごとに、再生速度が次のように変化し、テレビ画面に表示されます。

$x2 \rightarrow x5 \rightarrow x10 \rightarrow x20 \rightarrow x60^*$

* 「x60」はDVDビデオを再生しているときに限り選べます。

- ・通常の再生に戻すには

▶(再生)ボタンを押します。

<お知らせ>

- ・「x5」以上の早送り/早戻し中のときは、DVDビデオとビデオCDの音声は再生されません。
- ・MP3ディスクはテレビ画面に再生速度が表示されません。
- ・MP3ディスクでは音声は再生されません。
- ・ディスクの頭まで戻ると、早戻しは自動的に解除されます。

スローモーション再生をする

再生する速度を変えて、スローモーションで再生することができます。



- ・DVDビデオ/ビデオCD :一時停止中に

▶または◀ボタンを押します。



ボタンを押すごとに、再生速度が次のように変化し、テレビ画面に表示されます。

$x1/32 \rightarrow x1/16 \rightarrow x1/8 \rightarrow x1/4 \rightarrow x1/2$

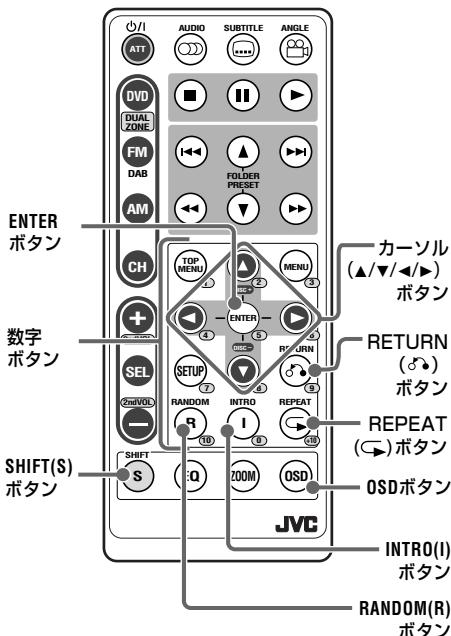
- ・通常の再生に戻すには

▶(再生)ボタンを押します。

<お知らせ>

- ・スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- ・ビデオCDは逆方向のスローモーション再生はできません。

テレビ画面を見て操作する



ステータスバーについて

ステータスバーには、次のような情報が表示されます。

・DVDビデオのとき



・ビデオCDのとき



・CDのとき



①ディスクの種類

②音声信号の種類(DVDビデオのみ)

③現在のタイトル番号(DVDビデオのみ)

④現在のチャプターファイル番号(DVDビデオのみ)

⑤時間表示

⑥再生の状態

⑦トラック番号

⑧PBCがオンのとき(ビデオCDのみ)

メニューバーを使う



本機では、テレビ画面上に、ステータスバーとメニューバーを表示させることができます。これらの表示を使って、再生中のディスクの情報を確認したり(ステータスバー)、さまざまな機能を呼び出して使う(メニューバー)ことができます。

1 OSDボタンを押す



・ステータスバーがテレビ画面に表示されます。

ステータスバーに表示される情報については、左の「ステータスバーについて」をご覧ください。

2 OSDボタンをもう一度押す



・ステータスバーの下に、メニューバーが表示されます。

・DVDビデオのとき



・ビデオCDのとき



・CDのとき



メニューバーに表示される項目については、「メニューバーについて」(→28ページ参照)をご覧ください。



28ページへ続く

テレビ画面を見て操作する(つづき)

3 カーソル(▶/◀)ボタンをくり返し押して□を選択したい項目に合わせ、ENTERボタンを押す



選択した項目のプルダウンメニューが表示されます。

例: DVDビデオで、[CHAP.▶] (チャプターサー
チ)を選択したとき



- 選んだ項目によっては、プルダウンメニューが表示されないものもあります。その場合は、手順4の操作をする必要はありません。

4 設定を切換える

カーソル(▲/▼)ボタンで項目の設定を切
換えるか、または数字ボタンで数字を入力
します。

各項目については、「メニューバーについ
て」(→□ページ参照)をご覧ください。

5 ENTERボタンを押して終了 する



プルダウンメニューが表示さ
れていた場合は、プルダウン
メニューが消えます。

- メニューバーを消す
OSDボタンを押します。

メニューについて

TIME : ステータスバーの時間表示を変更します。

DVDビデオのとき

- **TOTAL** : 現在の経過時間
- **T.REM** : ディスクの残り時間
- **TIME** : 現在のチャプターの経過時間
- **REM** : 現在のチャプターの残り時間

ビデオCD/CDのとき

- **TIME** : 現在のトラックの経過時間
- **REM** : 現在のトラックの残り時間
- **TOTAL** : 現在の経過時間
- **T.REM** : ディスクの残り時間

 : リピート再生のモードを選択します。

→[31](#)ページ参照

 : 経過時間を指定して再生ができます。

→[30](#)ページ参照

 : チャプターを指定して再生ができます。(DVDビデオのみ)

→[31](#)ページ参照

 : 再生する音声言語(DVDビデオのみ)や音声(ビデオCDのみ)を切換えます。

→[34](#)ページ参照

 : 再生する字幕言語を切換えます(DVDビデオのみ)。

→[35](#)ページ参照

 : アングルを切換えます(DVDビデオのみ)。

→[36](#)ページ参照

INTRO

: イントロスキャンのモードを選択します(ビデオCD/CDのみ)。→[24](#)ページ参照
イントロスキャンのモードが有効になると、**INTRO**表示が青く点灯します。

RND.

: ランダム再生のモードを選択します(ビデオCD/CDのみ)。→[24](#)ページ参照
ランダム再生のモードが有効になると、**RND.**表示が青く点灯します。

テレビ画面を見て操作する(つづき)

指定した時間から再生する



現在のタイトル(DVDビデオ)またはディスクの頭(ビデオCD/CD)からの経過時間を指定することによって、希望の位置から再生を始めることができます。(タイムサーチ)

- ・DVDビデオ : いつでも
- ・ビデオCD : 停止中またはPBCオフで再生中に
- ・CD : いつでも

1 OSDボタンを2回押す



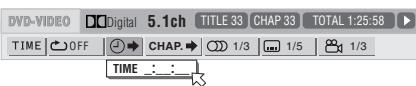
- ・テレビ画面にメニューバーが表示されます。



2 カーソル(▶/◀)ボタンをくり返し押して ▶ を ① に合わせ ENTERボタンを押す



時間を入力するプルダウンメニューが表示されます。



3 SHIFT(S)ボタンを押したまま数字ボタン(1~9、0)を押して時間を入力する



・DVDビデオのとき

時、分、秒の順に左詰めで数字を入力します。末尾の0は省略することもできます。

例：2時間34分から再生するとき

2→3→4の順に数字ボタンを押します。

TIME 2:34:__

例：12分30秒から再生するとき

0→1→2→3の順に数字ボタンを押します。

TIME 0:12:3__

・ビデオCD/CDのとき

分、秒の順に左詰めで数字を入力します。末尾の0は省略することもできます。

例：3分40秒から再生するとき

0→3→4の順に数字ボタンを押します。

TIME 03:4__

SHIFT(S)ボタンを押さないで次のボタンを押すと、

① : 0が入力できます。

② : 入力した数字が消去できます。

4 ENTERボタンを押す



- ・指定した経過時間の場所から再生が始まります。

・メニューバーを消す

OSDボタンを押します。

指定したチャプターから再生する

現在再生中のタイトルのチャプターを指定して再生を始めることがでDVDきます。(チャプターサーチ)

ただし、メニュー画面が表示されていると指定できません。

- ・DVDビデオ：いつでも

1 OSDボタンを2回押す



- ・テレビ画面にメニューバーが表示されます。



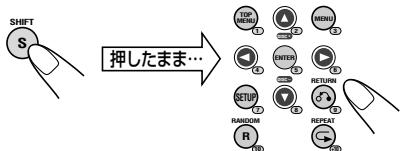
2 カーソル(▶/◀)ボタンをくり返し押して「CHAP.▶」に合わせ、ENTERボタンを押す



チャプター番号を入力するプルダウンメニューが表示されます。



3 SHIFT(S)ボタンを押したまま数字ボタン(1~10、+10)を押してチャプター番号を入力する



チャプター番号10は:10を押す。

チャプター番号23は:+10→+10→3と押す。

4 ENTERボタンを押す



- ・指定したチャプターから再生が始まります。

- ・メニューバーを消す

OSDボタンを押します。

色々な再生モードを使用する

リピート再生、ランダム再生、イントロスキヤンの3つの再生モードを使用することができます。

再生モードを選ぶには、次の3つの操作法があります。

- ・リモコンのボタンで選択する。
- ・メニューバーから選択する。
→ 41~44ページ参照
- ・本体のボタンで選択する。
→ 41~44ページ参照

リピート再生

再生中のチャプターやタイトル(DVDビデオ)、再生中のトラックや全トラック(ビデオCD/CD/MP3ディスク)をくり返して再生することができます。

- ・DVDビデオ：再生中(一時停止中)に
- ・ビデオCD：PBCがオフのときに
- ・CD/MP3ディスク：いつでも

REPEAT(→)ボタンをくり返し押して、お好みのリピート再生のモードを選びます。



ボタンを押すごとに、テレビ画面のリピート表示が次のように切換わります。

・DVDビデオのとき



- ・CHAP：現在の(または指定した)チャプターをくり返し再生

・テレビ画面には [CHAP] が表示されます。

- ・TITLE：現在のタイトルをくり返し再生

・テレビ画面には [TITLE] が表示されます。

- ・OFF：リピート再生を解除

・テレビ画面には [OFF] が表示されます。

テレビ画面を見て操作する(つづき)

•ビデオCD/CDのとき

TRACK ←→ OFF

- **TRACK** : 現在の(または指定した)トラックをくり返し再生
 - テレビ画面には **TRACK** が表示されます。
- **OFF** : ディスク内の全トラックをくり返し再生
 - テレビ画面には **OFF** が表示されます。

•MP3ディスクのとき

→ **TRACK** → **FOLDER**
OFF ←

- **TRACK** : 現在の(または指定した)トラックをくり返し再生
 - MP3 CONTROL画面に「REPEAT TRACK」が表示されます。→**図**ページ参照
- **FOLDER** : 現在の(または指定した)フォルダ内の全トラックをくり返し再生
 - MP3 CONTROL画面に「REPEAT FOLDER」が表示されます。→**図**ページ参照
- **OFF** : ディスク内の全トラックをくり返し再生

ランダム再生



トラックの順番をランダム(無作為)に一度ずつ再生することができます。

- ビデオCD : PBCがオフのときに
- CD/MP3ディスク : いつでも

RANDOM(R)ボタンをくり返し押して、お好みのランダム再生のモードを選びます。



ボタンを押すごとに、ランダム再生のモードは次のように切換わります。

•ビデオCD/CDのとき

DISC ←→ OFF

- **DISC** : ディスク内の全トラックをランダムに再生
- **OFF** : ランダム再生を解除。

•MP3ディスクのとき

→ **FOLDER** → **DISC**
OFF ←

- **FOLDER** : フォルダ中の全トラックをランダムに再生
 - MP3 CONTROL画面に「RND FOLDER」が表示されます。→**図**ページ参照
- **DISC** : ディスク中の全トラックをランダムに再生
 - MP3 CONTROL画面に「RND DISC」が表示されます。→**図**ページ参照
- **OFF** : ランダム再生を解除

<お知らせ>

- DVDビデオのディスクによっては、リピート再生ができないものもあります。

イントロスキャン



トラックの頭を15秒ずつ演奏していきます。

- ・ビデオCD : PBCがオフのときに
- ・CD/MP3ディスク : いつでも

INTRO(I)ボタンをくり返し押して、お好みのイントロスキャンのモードを選びます。



ボタンを押すごとに、イントロスキャンのモードは次のように切替わります。

• ビデオCD/CDのとき

TRACK ←→ OFF

- ・TRACK : 各トラックの頭の15秒を順番に再生
- ・OFF : イントロスキャンを解除

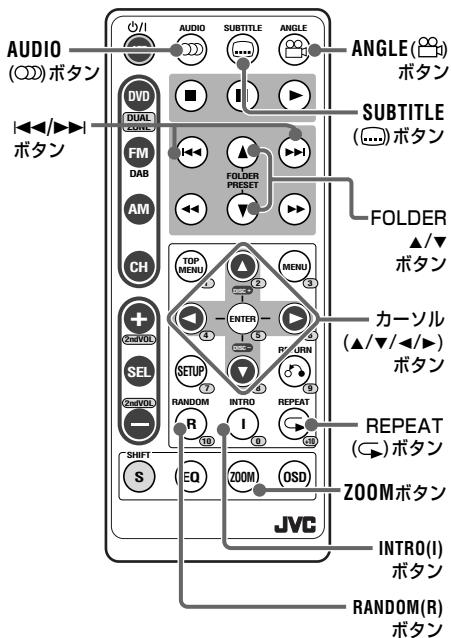
• MP3ディスクのとき



- ・TRACK : 各トラックの頭を15秒ずつ順番に再生
 - ・MP3 CONTROL画面に「INTRO TRACK」が表示されます。→[37ページ](#)参照
- ・FOLDER : 各フォルダの最初のトラックの頭を15秒ずつ順番に再生
 - ・MP3 CONTROL画面に「INTRO FOLDER」が表示されます。→[37ページ](#)参照
- ・OFF : イントロスキャンを解除

テレビ画面を見て操作する(つづき)

AUDIO(○○)ボタンをくり返し押して、音声言語/音声を選ぶ



音声言語/音声を切換える

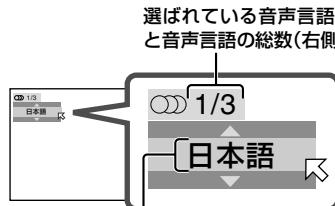
DVDビデオの中には、複数の音声言語/音声が収録されている
ものがあります。それらの中から希望する音声言語/音声を選びます。

ビデオCDの場合、音声を切換えることによって、カラオケの歌あり/なしを選ぶことができます。

複数の字幕が収録されているDVDビデオでは、再生の初めで が画面に表示されます。
・メニューバーを使って、音声を選ぶこともできます。(→27~29ページ参照)

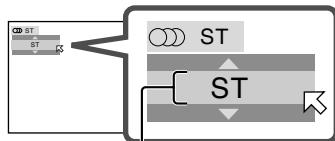
テレビ画面に音声選択ウィンドウが表示されます。
ボタンを押すごとに、音声言語/音声が切替わります。

● 例：DVDビデオのとき



現在選ばれている音声言語

● 例：ビデオCDのとき



現在選ばれている音声

ビデオCDのときは、ボタンを押すごとに次のように音声が切替わります。

- ・ ST : ステレオ
- ・ L : 左チャンネル
- ・ R : 右チャンネル

- ・ 音声選択ウィンドウが表示されている状態で、カーソル(▲/▼)ボタンを押しても音声言語が選べます。

<お知らせ>

- DVDビデオの再生中、音声選択ウィンドウに表示される音声言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(→76ページ参照)で表示されます。

字幕を切換える

DVDビデオの中には、複数の字幕言語が収録されているものがあります。 それらの中から希望する言語を選びます。

複数の字幕が収録されているソフトでは、再生の初めで  が画面に表示されます。

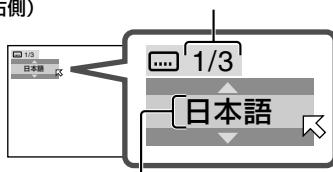
- ・ メニューバーを使って、字幕を選ぶこともできます。(→[27](#)~[29](#)ページ参照)

SUBTITLE()ボタンをくり返し押して、字幕言語を選ぶ



テレビ画面に字幕選択ウィンドウが表示されます。ボタンを押すごとに、字幕言語が切替わります。

- ・ 例：選ばれている字幕言語(左側)と字幕言語の総数(右側)



現在選ばれている字幕言語

- ・ 字幕選択ウィンドウが表示されている状態で、カーソル($\blacktriangle/\blacktriangledown$)ボタンを押しても字幕言語が選べます。

<お知らせ>

- ・ DVDビデオの再生中、字幕選択ウィンドウに表示される字幕言語のうち、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外は言語コード(→[76](#)ページ参照)で表示されます。

アンダルを切換える

DVDビデオの中には、複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)が収録されています。このようなディスクを再生するときに、どの角度からの映像を見るか選択することができます。

複数の字幕が収録されているソフトでは、再生の初めで  が画面に表示されます。

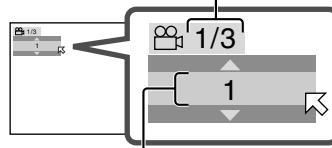
- ・ メニューバーを使って、アンダルを選ぶこともできます。(→[27](#)~[29](#)ページ参照)

ANGLE()ボタンをくり返し押して、アンダルを選ぶ

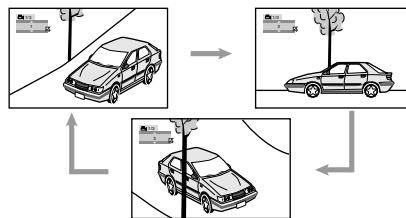


テレビ画面にアンダル選択ウィンドウが表示されます。ボタンを押すごとに、アンダルが切替わります。

- ・ 例：選ばれているアンダル(左側)とアンダルの総数(右側)



現在選ばれているアンダル



- ・ アンダル選択ウィンドウが表示されている状態で、カーソル($\blacktriangle/\blacktriangledown$)ボタンを押してもアンダルが選べます。

テレビ画面を見て操作する(つづき)

画面を拡大する

画面上のお好みの場所を拡大して見ることができます。



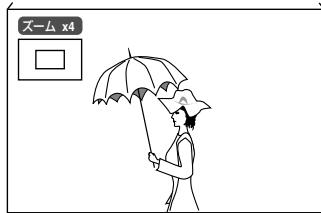
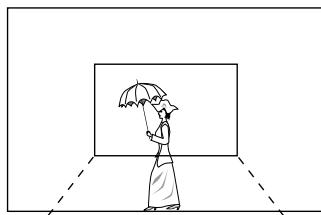
- ・DVDビデオ/ビデオCD：再生中(一時停止中)に

1 ZOOMボタンを押す



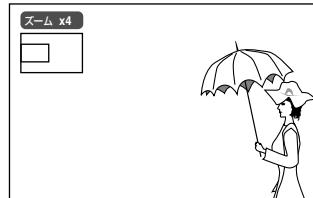
- ・ボタンを押すごとに、倍率は次のように変化します。

$x2 \rightarrow x4 \rightarrow x8 \rightarrow x1 \rightarrow x2 \rightarrow x4 \rightarrow$
 $x8 \rightarrow \dots$



画面の左上部に現在の倍率と拡大位置表示が表示されます。拡大したい場所を選ぶには次の手順で行います。

2 カーソル(▲/▼/▶/◀)ボタンを押して、拡大したい部分を選ぶ



- ・通常の画面に戻す

ENTERボタンを押すか、「ズームx1」が表示されるまでZOOMボタンをくり返し押します。

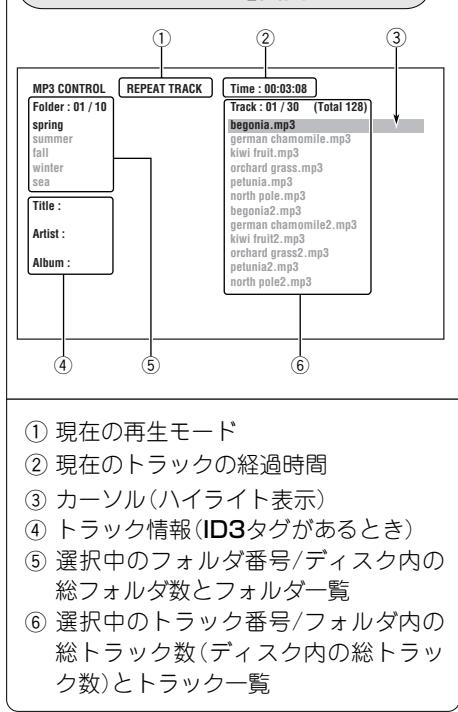
<お知らせ>

- ・拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

MP3ディスクを再生する

MP3ディスクを再生すると、テレビ画面上に「MP3 CONTROL」画面が表示されます。

「MP3 CONTROL」画面について



- ① 現在の再生モード
- ② 現在のトラックの経過時間
- ③ カーソル(ハイライト表示)
- ④ トラック情報(ID3タグがあるとき)
- ⑤ 選択中のフォルダ番号/ディスク内の総フォルダ数とフォルダ一覧
- ⑥ 選択中のトラック番号/フォルダ内の総トラック数(ディスク内の総トラック数)とトラック一覧

<お知らせ>

- フォルダ一覧には、一度に最大5つまでのフォルダが表示されます。
- トラック一覧には、一度に最大12までのトラックが表示されます。
- ファイル/フォルダ名やID3 Tagで使用できる文字数には以下の制限があります。
ファイル/フォルダ名 : 32文字(.MP3を含む)
Tag : 30文字
- MP3ディスクを再生中にリモコンのENTERボタンを押すと、その曲の頭からの再生に戻ります。
- MP3ディスク再生中に電源を切ったりソース(音源)を切換えたりすると、次に再生するときは曲の頭からの再生になります。

● フォルダ選択とトラック選択を切換える

カーソル(▶/◀)ボタンを押します。

カーソル(ハイライト表示)がフォルダ一覧からトラック一覧(またはトラック一覧からフォルダ一覧)に移動します。

● フォルダを選択する

カーソル(ハイライト表示)がフォルダ一覧にある状態でカーソル(▲/▼)を押します。

- ・ FOLDER ▲/▼ボタンを押すと、カーソルの位置に関わらずフォルダを選択できます。

● トラックを選択する

カーソル(ハイライト表示)がトラック一覧にある状態でカーソル(▲/▼)を押します。

- ・ ▶▶/◀◀ボタンを押すと、カーソルの位置に関わらずトラックを選択できます。

● リピート再生を選択する

REPEAT(⌚)をくり返し押してお好みのリピート再生のモードを選択します。

詳しくは「色々な再生モードを使用する」(→③ページ参照)をご覧ください。

● ランダム再生を選択する

RANDOM(R)をくり返し押してお好みのランダム再生のモードを選択します。

詳しくは「色々な再生モードを使用する」(→③ページ参照)をご覧ください。

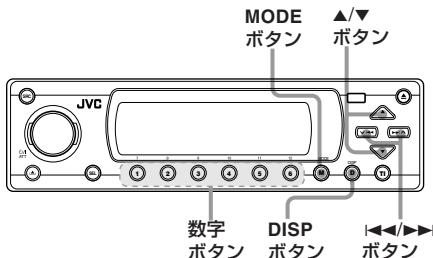
● イントロスキャンを選択する

INTRO(I)をくり返し押してお好みのイントロスキャンのモードを選択します。

詳しくは「色々な再生モードを使用する」(→③ページ参照)をご覧ください。

本体のボタンで操作する

ここでは、本体のボタンを使ったディスクの操作方法を説明します。



早送り/早戻しをする(サーチ)

再生する速度を変えて、見たい場面や聞きたいフレーズに素早く移動できます。

- ・全てのディスク：再生中に



- ▶▶：押し続けている間早送りされます。
- ◀◀：押し続けている間早戻しされます。

ボタンを押し続けると、再生速度が $x2 \rightarrow x10$ と変化し、テレビ画面に表示されます。
(MP3ディスクはテレビ画面に再生速度が表示されません)

ディスクの基本操作

●再生を停止する。



▼ボタンを押します。

再生を停止した位置は記憶されます。再生を再開すると、停止した位置から続きを再生されます(リピューム再生)。

●再生を再開する。

▲ボタンを押します。

再生を停止した位置から続きを再生されます。

DVDビデオの場合、再生中に▲ボタンを押すと約10秒前に戻り、再生を開始します。
(チョット見バック)

<お知らせ>

次のようなときは、自動的にディスクが再生されます。

・本体にディスクを入れて、フロントパネルを閉めたとき

ディスクの頭から再生が開始します。

・ディスクが本体に入っている状態で、ソース(音源)を「DISC」に切換えたとき

再生を停止した位置から続きを再生されます。(リピューム再生)。

頭出しをする(スキップ)

前後のチャプター(DVDビデオ)やトラック(ビデオCD/CD/MP3ディスク)の頭にスキップすることができます。

- ・DVDビデオ : 再生中に
- ・ビデオCD : 再生中または停止中に
- ・CD/MP3ディスク : 再生中または停止中に



- ▶▶：押すごとに次のトラックの頭に移ります。

- ◀◀：再生中のトラックの頭に戻ります。
押すごとに前のトラックの頭に戻ります。

ダイレクトに頭出しをする

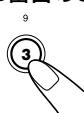
タイトルやチャプター(DVDビデオのみ)、トラック(ビデオCD/CD/MP3ディスク)をダイレクトに指定し、そこから再生を始めることができます。

- DVDビデオ : 再生中に
—チャプターが選べます。
停止中に
—タイトルが選べます。
- ビデオCD : 停止中またはPBCオフで再生中に
- CD/MP3ディスク : 再生中または停止中に



- 1~6番目
数字ボタンを「ポン」と押します。

例: 3番目のとき



- 7~12番目
数字ボタンを1秒以上押します。

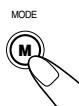
例: 12番目のとき



チャプターやトラックを10ずつダイレクトに選ぶ

- DVDビデオ : 再生中に
- ビデオCD : 停止中またはPBCオフで再生中に
- CD/MP3ディスク : 再生中または停止中に

1 MODEボタンを押す



- 「Mode」表示が点灯し、カウントダウンが始まります。

例: ビデオCD/CDの時



5秒以内に

▲/▼ボタンを押してチャプター/トラックを選ぶ



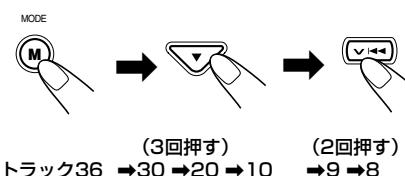
もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)のチャプター/トラック番号に移ります。

その後は、▲/▼ボタンを押すごとに10ずつチャプター/トラック番号が変わります。たりないときは最後のチャプター/トラック番号が選ばれます。

例1: トラック6を再生中に、トラック32を選ぶ



例2: トラック36を再生中に、トラック8を選ぶ



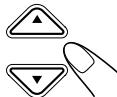
<お知らせ>

- ビデオCD/CD/MP3ディスクが停止中に10ずつダイレクトに選ぶ操作を行なっても、再生は自動的に開始しません。▶(再生)ボタンを押してください。
- ビデオCDとCDの場合、最後のトラックまで移動した後に▲ボタンを押すと、最初のトラックに戻ります。また、最初のトラックまで移動した後に▼ボタンを押すと、最後のトラックに戻ります。
- MP3ディスクを再生中は、現在再生しているフォルダ内のトラックだけが対象になります。

本体のボタンで操作する(つづき)

フォルダの頭出しをする

フォルダの頭にスキップすることができます。



- ▲: 押すごとに次のフォルダの頭に移ります。
- ▼: 再生中のフォルダの1つ前のフォルダの頭に戻ります。

プレイリストを見ながら選ぶ

再生中のディスクのフォルダ名やトラック名のリストを見ながら選択する



1 ▲または▼ボタンを1秒以上押してリストを表示させる



- 表示窓にフォルダ名リストが表示されます。再生中のフォルダはハイライト表示されます。

- 1秒以上押す。

現在のフォルダ名



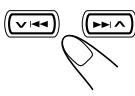
- リストには一度に6つまで表示されます。▲または▼ボタンを押すと、リストの続きが表示されます。

- MP3ディスクのMP3トラックの含まれているフォルダだけが表示されます。

トラックを選びたいときは、手順2へ進みます。

フォルダを選びたいときは、手順3へ進みます。

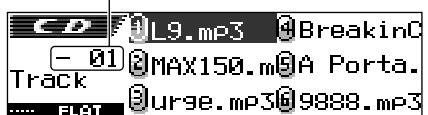
2 ►または◀◀ボタンを押しでリストを切換える



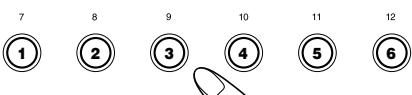
- ボタンを押すごとに、表示されているリストが次のように切換わります。

Folder name list ←→ Track name list

現在のトラック名



3 数字ボタン(1~6)を押して選択する



色々な再生モードを使用する

A2L

リピート再生

- ・DVDビデオ : 再生中(一時停止中に)
・ビデオCD : PBCがオフのときに
・CD/MP3ディスク : いつでも



- ・「Mode」表示が点灯します。
- ・数字ボタンの2を押すごとに、リピート再生のモードは、次のように切換わります。

例 : CDを再生している場合



• DVDビデオのとき



• Repeat Chapter :

現在の(または指定した)チャプターをくり返し再生
・表示窓にC-RPTが点灯します。

• Repeat Title :

現在のタイトルをくり返し再生
・表示窓にT-RPTが点灯します。

• Repeat Off :

リピート再生を解除

• ビデオCD/CDのとき



• Repeat Track :

現在の(または指定した)トラックをくり返し再生
・表示窓にRPT表示が点灯します。

• Repeat Off :

ディスク内の全トラックをくり返し再生

• MP3ディスクのとき



• Repeat Track :

現在の(または指定した)トラックをくり返し再生
・表示窓にRPT表示が点灯します。

• Repeat Folder :

現在の(または指定した)フォルダ内の全トラックをくり返し再生
・表示窓にRPT表示が点灯します。

• Repeat Off :

ディスク内の全トラックをくり返し再生

• リピート再生を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

<お知らせ>

- DVDビデオのディスクによっては、リピート再生ができないものもあります。

本体のボタンで操作する(つづき)

ランダム再生

- ・ビデオCD : PBCがオフのときに
- ・CD/MP3ディスク : いつでも



- ・「Mode」表示が点灯します。
- ・数字ボタンの3を押すごとに、ランダム再生のモードは、次のように切換わります。

例: CDを再生している場合



・ビデオCD/CDのとき

Random Disc \longleftrightarrow Random Off

・Random Disc :

ディスク内の全トラックをランダムに再生

・表示窓に RND 表示が点灯します。

・Random Off :

ランダム再生を解除

・MP3ディスクのとき



・Random Folder :

フォルダ内の全トラックをランダムで再生

・表示窓に RND 表示が点灯します。

・Random Disc :

ディスク内の全トラックをランダムで再生

・表示窓に RND 表示が点灯します。

・Random Off :

ランダム再生を解除

・ ランダム再生を解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

イントロスキャン

- ・ビデオCD : PBCがオフのときに
- ・CD/MP3ディスク : いつでも



- ・「Mode」表示が点灯します。
- ・数字ボタンの1を押すごとに、イントロスキャンのモードは、次のように切換わります。

例: CDを再生している場合



・ビデオCD/CDのとき

Intro Track \longleftrightarrow Intro Off

・Intro Track :

各トラックの頭の15秒を順番に再生

・表示窓に INT 表示が点灯します。

・Intro Off :

イントロスキャンを解除

・MP3ディスクのとき



・Intro Track :

各トラックの頭を15秒ずつ順番に再生

・表示窓に INT 表示が点灯します。

・Intro Folder :

各フォルダの最初のトラックの頭を15秒ずつ順番に再生

・表示窓に INT 表示が点灯します。

・Intro Off :

イントロスキャンを解除

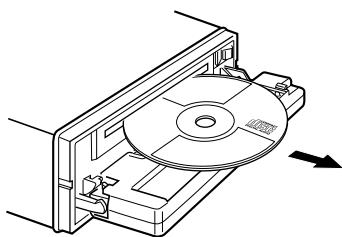
・ イントロスキャンを解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

ディスクを取り出す



▲(ディスク取り出し)ボタンを押すと、ディスク挿入口が現われディスクが出てきます。ディスクを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(ディスクを取らずにそのままにしておく)と、15秒後に自動で中に引き込まれます

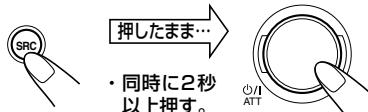
〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」または電源「切」のときでもディスクは取り出せます。この場合、ディスクを取り出すと電源が切れます。

ディスクの盗難防止

ディスクを他の人が取り出せなくすることができます。

SRCボタンを押したまま $\textcircled{O/I}$ (電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押す



- 「No Eject」が点滅表示され、ディスクの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「Eject OK」が点滅表示されディスクの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

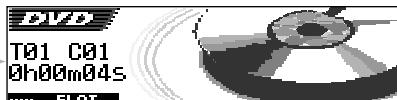
ディスク再生中の表示内容を変える



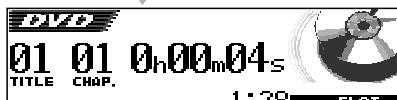
DISPボタンを押すと、押すごとに表示内容を変えることができます。

・DVDビデオのとき

演奏経過時間と曲番号(小)



演奏経過時間と曲番号(大)

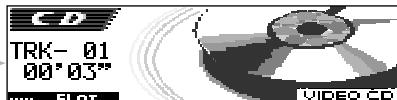


時計表示

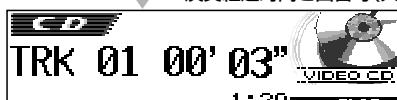


・ビデオCDのとき

演奏経過時間と曲番号(小)



演奏経過時間と曲番号(大)



時計表示



→ 44ページへ続く

本体のボタンで操作する(つづき)

・CDのとき



* 記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

・MP3ディスクのとき



* Tag「オン」でID3 Tagがある場合には表示が異なります。

〈お知らせ〉

- ディスク名を入力するときは図ページの「文字の入力のしかた」をご覧ください。
- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態: Once(お買い上げ時の状態)になっています。Auto(自動)またはOff(切)に変えることもできます。
→図ページ参照
- テレビ画面に表示できる文字数は、CDディスクで64文字までです。

〈お知らせ〉

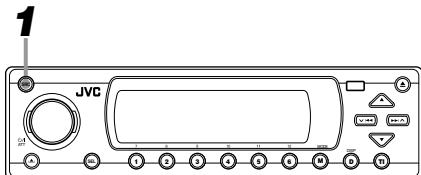
- ID3 Tagがある場合は、Tag「オン」にするとフォルダ名の代わりにアルバム/アーティスト名が、ファイル名の代わりに曲名が表示されます。このとき、アルバム/アーティスト名の横には表示が、曲名の横には表示が点灯します。
- 文字表示は半角英数字が表示されます。
- 漢字や全角文字には対応しておりません。
- 対応以外の文字が入力してあると、「_」が表示されます。
- Tag「オン/オフ」については図ページをご覧ください。
- ID3 Tagについては図ページをご覧ください。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

準備

- CDチェンジャー内のマガジンに
聞きたいCDを入れておきます。

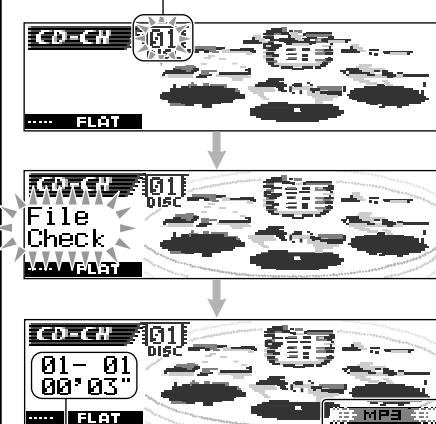
全曲演奏(全CDのくり返し演奏)



1 SRCボタンを押して、ソース(音源)を「CD-CH」にする

- ボタンを押すごとにソース(音源)が切換わります。
(→12ページ参照)
- リモコンのCHボタンを押しても、CDチェンジャーに切換えることができます。
- MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初のトラックから再生が始まります。

選択されているディスク番号



フォルダ/トラック番号と経過時間

MP3表示
(MP3ディスク
のとき)

CDのとき

最初のトラックから再生が始まります。

選択されているディスク番号



トラック番号と経過時間

- CDチェンジャー演奏中に電源を「切」にしたときは、止まったときのCDから演奏がスタートします。
- 最初のCDの演奏が終わると、自動で次のCDの演奏になります。
マガジン内の全CDのくり返し演奏になります。

演奏を途中でやめる

SRCボタンを押して他のソース(音源)に
切換えます。
または電源を「切」にします。

お知らせ

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。

CD演奏中の表示内容を変える

DISPボタンを押すと、押すごとに表示窓の
表示内容を変えることができます。

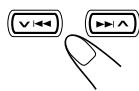


- ボタンを押すごとに、表示内容
が切換わります。(→44ページ参
照)

本体のボタンで操作する(つづき)・CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

早送り/早戻しをする(サーチ)



▶▶ : 押し続けている間
早送りされます。
◀◀ : 押し続けている間
早戻しされます。

演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

- MP3ディスクの場合、早送り/早戻し中の音声は断続的な音になります。

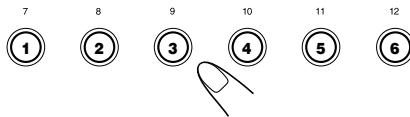
頭出しをする(スキップ)



▶▶ : 押すごとに次のトラックの頭に移ります。
◀◀ : 再生中のトラックの頭に戻ります。押すごとに前のトラックの頭に戻ります。

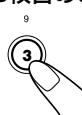
数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



- 1~6枚目
数字ボタンを「ポン」と押します。

例：3枚目のとき



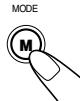
- 7~12枚目
数字ボタンを1秒以上押します。

例：12枚目のとき



- トラックを10ずつダイレクトに選ぶ(MP3対応チェンジャーのみ)

1 MODEボタンを押す



- ・「Mode」表示が点灯し、カウントダウンが始まります。



5秒以内に

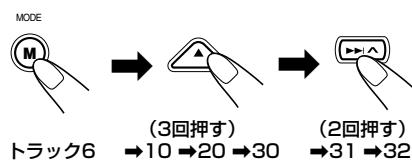
2 ▲/▼ボタンを押してトラックを選ぶ



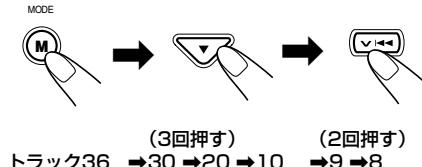
- もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)のトラック番号に移ります。

その後は、▲/▼ボタンを押すごとに10ずつトラック番号が変わります。

例1：トラック6を再生中に、トラック32を選ぶ

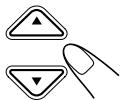


例2：トラック36を再生中に、トラック8を選ぶ



フォルダの頭出しをする

MP3ディスクのときのみ使用できます。

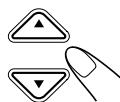


- ▲: 押すごとに次のフォルダの頭に移ります。
- ▼: 再生中のフォルダの1つ前のフォルダの頭に戻ります。

プレイリストを見ながら選ぶ

ディスク名やフォルダ名、トラック名のリストを表示させてから選択することができます。

1 ▲または▼ボタンを1秒以上押してディスク名を表示させる



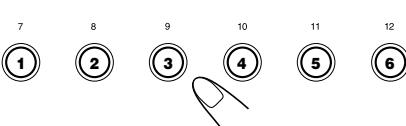
- 表示窓にディスク名のリストが表示されます。再生中のディスクはハイライト表示されます。



現在のディスク番号

- リストには一度に6つまで表示されます。▲または▼ボタンを押すと、リストの続きが表示されます。
- ディスク名が入力されていないときは「DISC 03」のように表示されます。
- トレイにCDが入っていないことを検出すると「No Disc」と表示されます。

2 数字ボタン(1~6)を押して選択する



MP3ディスクを再生中のときは、フォルダリストやトラックリストを表示させて選択することができます。

1 ▲または▼ボタンを1秒以上押してディスク名を表示させる



- 表示窓にディスク名のリストが表示されます。再生中のディスクはハイライト表示されます。

2 ►►または◀◀ボタンを押してリストを切換える



- ボタンを押すごとに、表示されているリストが次のように切換わります。



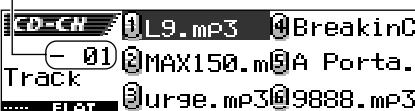
・フォルダリストを表示しているとき

現在のフォルダ番号

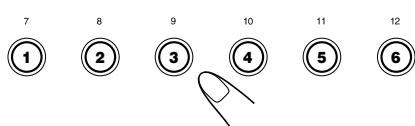


・トラックリストを表示しているとき

現在のトラック番号



3 数字ボタン(1~6)を押して選択する



CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

色々な再生モードを使用する

リピート再生

リモコンで操作するとき



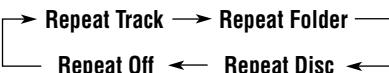
- REPEAT(↔)ボタンを押すごとに、リピート再生のモードが切換わります。

本体で操作するとき



- 「Mode」表示が点灯します。
- 数字ボタンの2を押すごとに、リピート再生のモードが切換わります。

● MP3ディスクのとき



- MP3ディスクを再生中は、表示窓右下にMP3表示が点灯します。

● CDのとき



● Repeat Track :

現在の(または指定した)トラックをくり返し再生

- 表示窓に RPT 表示が点灯します。

● Repeat Folder* :

現在の(または指定した)フォルダ内の全トラックをくり返し再生

- 表示窓に RPT 表示が点灯します。

● Repeat Disc :

演奏中のディスク内の全トラックをくり返し再生

- 表示窓に RPT 表示が点灯します。

* 「Repeat Folder」は、MP3ディスクを演奏中に限り選べます。

- リピート再生を解除するには MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

ランダム演奏

リモコンで操作するとき



- RANDOM(R)ボタンを押すごとに、ランダム再生のモードが切換わります。

本体で操作するとき



- 「Mode」表示が点灯します。
- 数字ボタンの3を押すごとに、ランダム再生のモードが切換わります。

● MP3ディスクのとき



- MP3ディスクを再生中は、表示窓右下にMP3表示が点灯します。

● CDのとき



- **Random Folder*** :

フォルダ内の全トラックをランダムで再生

 - ・表示窓に RND 表示が点灯します。
- **Random Disc** :

ディスク内の全トラックをランダム再生

 - ・表示窓に RND 表示が点灯します。
- **Random All** :

マガジン内の全ディスクでランダム再生

 - ・表示窓に ALL RND 表示が点灯します。

* 「Random Folder」は、MP3ディスクを再生中に限り選べます。

- **ランダム再生を解除する**

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

イントロスキャン

リモコンで操作するとき



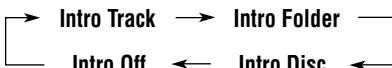
- ・ INTRO (I) ボタンを押すごとに、イントロスキャンのモードが切換わります。

本体で操作するとき



- ・「Mode」表示が点灯します。
- ・数字ボタンの1を押すごとに、イントロスキャンのモードが切換わります。

● MP3ディスクのとき



・ MP3ディスクを演奏中は、表示窓右下にMP3表示が点灯します。

● CDのとき



● Intro Track :

- 各トラックの頭を15秒ずつ順番に再生
- ・表示窓に INT 表示が点灯します。

● Intro Folder* :

- 各フォルダの最初のトラックの頭を15秒ずつ順番に再生
- ・表示窓に INT 表示が点灯します。

● Intro Disc :

- マガジン内の全ディスクの頭を15秒ずつ順番に再生
- ・表示窓に INT 表示が点灯します。

* 「Intro Folder」は、MP3ディスクを再生中に限り選べます。

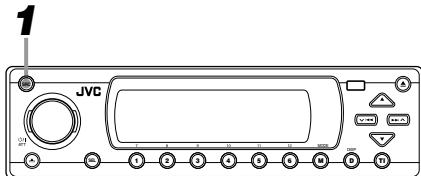
● イントロスキャンを解除する

MODEボタンを押したあと、数字ボタンの4を押して解除します。

他の機器の音を聞く

準備

- 変換コード:KS-U57(別売り)
を使ってCDチェンジャー端子に
カーアビオニクス機器を接続しておきま
す。→別紙の取扱説明書参照
- 「Ext Input」のソース(音源)を
「Line In」に切換えておきます。
→**56**~**59**ページ参照



1 SRCボタンを押してソース (音源)を「LINE IN(ライン入 力)」にする



- ボタンを押すごとにソース
(音源)が切換わります。
(→**12**ページ参照)



2 接続した機器を演奏状態にす る

- 接続した機器に音量調節があるときは、CDな
どの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節
してください。

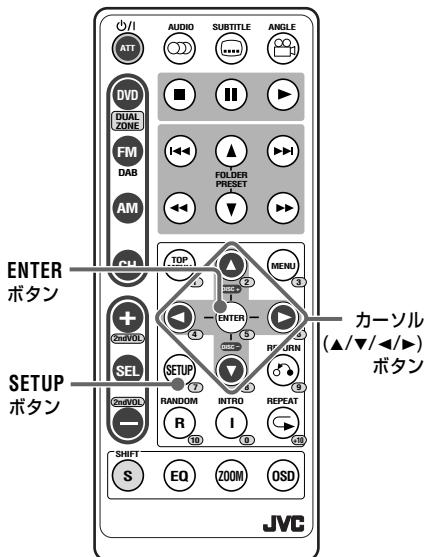
〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャン
ネル出力端子付のものを用意してくださ
い。接続する機器の取扱説明書をよくお読み
になり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続していると
きは、ご利用になれません。
- FM放送より音量が小さい(または大きい)
ときは、SELボタンをくり返し押して「Vol
Adj(ソース間音量)」を選び、回転ボリュー
ムを回すと音量差を調節することができます。
→**団**ページ参照

DVDの設定をする

設定メニューの構成について

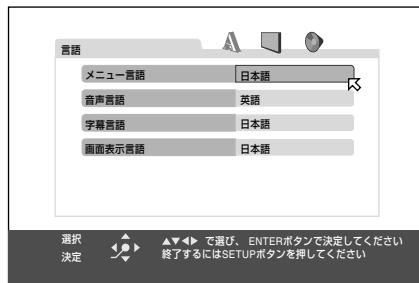
設定メニューには次のようなものがあります。



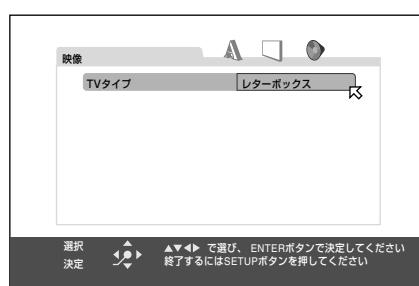
DVDビデオに関する各種設定を設定メニュー画面で変更できます。

- 設定メニューは、ソース(音源)としてMP3ディスク以外のディスクを選んでい るときのみ使えます。

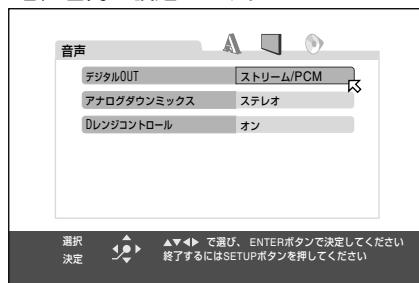
A : 言語メニュー(→53ページ)
DVDビデオ再生時の各言語設定と設定メニューの言語を設定します。



B : 映像メニュー(→54ページ)
映像出力を設定します。



C : 音声メニュー(→55ページ)
音声出力を設定します。



DVDの設定をする(つづき)

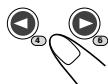
基本操作

1 SETUPボタンを押す

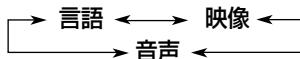


言語メニュー画面が表示されます。

2 カーソル(▶/◀)ボタンをくり返し押してメニューを選ぶ



ボタンを押すごとにメニュー画面は切換わります。



例: 音声メニューを選んだとき

3 カーソル(▲/▼)ボタンをくり返し押して□をお好みの項目に合わせる



例: アナログダウンミックスを選んだとき

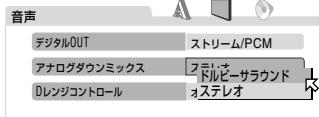
4 ENTERボタンを押す



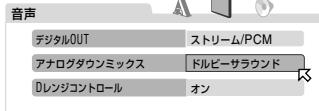
選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。



5 カーソル(▲/▼)ボタンをくり返し押して□をお好みの設定にあわせる



6 ENTERボタンを押す



変更した設定が記憶されます。

言語メニュー

DVDビデオ再生時の各言語設定と設定メニューの言語を設定します。

設定項目	設定内容（■がお買い上げ時の設定です）	備考
メニュー言語 DVDビデオのメニュー画面に表示される言語を選びます。	英語↔スペイン語↔フランス語↔中国語↔ ドイツ語↔イタリア語↔日本語↔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 → 団ページ参照	選択した言語がディスクに収録されていないときには、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
音声言語 DVDビデオの音声言語を選びます。	英語↔スペイン語↔フランス語↔中国語↔ ドイツ語↔イタリア語↔日本語↔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 → 団ページ参照	
字幕言語 DVDビデオの字幕言語を選びます。	オフ↔英語↔スペイン語↔フランス語↔ 中国語↔ドイツ語↔イタリア語↔ 日本語 ↔AAからZUまでの言語コード 言語コードは言語コード一覧表をご覧ください。 → 団ページ参照	
画面表示言語 設定メニューなどの画面上に表示される表示言語を選びます。	日本語↔英語	――

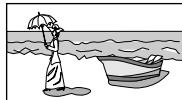
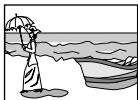
〈お知らせ〉

- ディスク再生中は、「画面表示言語」以外の言語設定画面の操作はできません。

DVDの設定をする(つづき)

映像メニュー

映像出力を設定します。

設定項目	設定内容 ([] がお買い上げ時の設定です)	備考
TVタイプ お使いのテレビに合わせて画面表示を選びます。	16:9ノーマル ↔ 16:9オート ↔ レターボックス ↔ パンスキャン <ul style="list-style-type: none">• 16:9ノーマル 画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。(本機が4:3で収録されたDVDビデオを再生するとき、出力信号の画面幅を自動調節します)• 16:9オート 普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。• レターボックス 上下に黒い帯がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。• パンスキャン 左右両端が切り取られた状態で映ります。上下に黒い帯は映りません。通常のテレビ(縦横比4:3)に接続したとき、この設定にします。	「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDビデオを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。
		
		
		

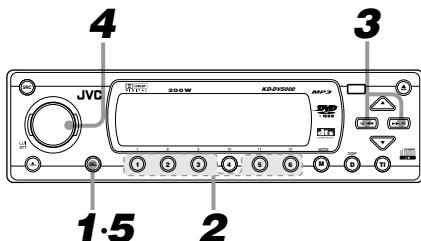
音声メニュー

音声出力を設定します。

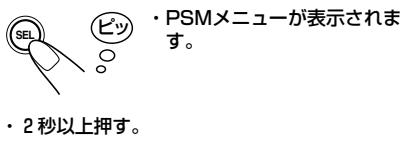
設定項目	設定内容 ([] がお買い上げ時の設定です)
デジタルOUT 背面のDIGITAL OUT端子から出力する信号の形式を選びます。	<p>PCMのみ↔ドルビーデジタル/PCM↔ストリーム/PCM</p> <ul style="list-style-type: none"> PCMのみ ドルビーデジタルとDTSの両方に対応していない市販のアンプやD/AコンバーターまたはMDレコーダーに接続するときに選びます。 ドルビーデジタル/PCM ドルビーデジタルに対応している市販のアンプやデコーダーに接続するときに選びます。 ストリーム/PCM ドルビーデジタルとDTSの両方に対応している市販のアンプやデコーダーに接続するときに選びます。
アナログダウンミックス スピーカーとLINE OUTから出力するオーディオ信号の形式を選びます。	<p>ステレオ↔ドルビーサラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ステレオ 本機を通常に使用するときに選びます。 ドルビーサラウンド ドルビーデジタルに対応している市販のアンプに接続するときに選びます。
レンジコントロール ドルビーデジタルの音声を再生しているときにダイナミックレンジ(最大音声と最小音声の差)を圧縮(コンプレッション)することができます。夜間にサラウンドをお楽しみいただくときにはいます。	<p>オート↔オン</p> <ul style="list-style-type: none"> オート ドルビーデジタル1chまたは2ch収録のディスク以外で常時ダイナミックレンジを圧縮します。 オン 常時ダイナミックレンジを圧縮します。

SELボタンを使った各種設定と調節

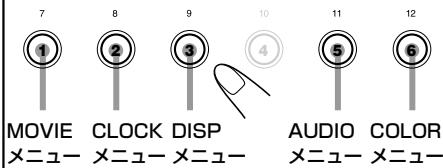
PSMモードの設定方法



1 SELボタンを2秒以上押す



2 数字ボタン(1~3,5,6)を押してPSMのメニューを選ぶ



3 ▶▶ボタンを押してPSMメニューの項目を選ぶ



4 回転ボリュームで設定または調節をする



5 SELボタンを押して終了する

- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。
SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。

〈お知らせ〉

- 手順3で◀▶ボタンを押すとPSMメニューの項目は逆に選べます。
- 手順3で▶▶(または◀◀)ボタンをくり返し押すと、次のPSMメニューの項目が表示されます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

PSMモードの一覧

メニュー項目		初期設定	設定	参照 ページ
MOVIE	Graphics	Int Demo	All Demo ←→ Int Demo ↑ ↓ Off ↑ ↓	[58]
	KeyIn CFM	Long	Long ←→ Short ↑ ↓ Off ↑ ↓	[58]
CLOCK	Clock Hr	1(1:00)	1 ~ 12	[13]
	Clock Min	00(1:00)	00 ~ 59	[13]
	24H/12H	12Hours	12 Hours ←→ 24 Hours	[13]
DISP(ディスプレイ)	Scroll	Once	Once ←→ Auto ↑ ↓ Off ↑ ↓	[58]
	Dimmer	Auto	Auto ←→ Off Time set ←→ On	[58]
	From-To*1	6PM-7AM	[58]ページ参照	[58]
	Contrast	5	1 ~ 10	[58]
	LCD Type	Auto	Positive ←→ Negative ↑ ↓ Auto ↑ ↓	[58]
	Font Type	1	1 ←→ 2	[58]
AUDIO	Tag	On	Off ←→ On	[58]
	Beep	On	Off ←→ On	[59]
	Ext Input*2	Changer	Changer ←→ Line In	[59]
COLOR	All SRC*3	Every	[60]ページ参照	[60]
	User	Day	Day ←→ Night	[61]
	R	Day:07/Night:05	00 ~ 11	[61]
	G	Day:07/Night:05	00 ~ 11	[61]
	B	Day:07/Night:05	00 ~ 11	[61]

*1 「Dimmer」が「Time Set」に設定されていないときは表示されません。

*2 現在のソース(音源)が「CD-CH(CDチェンジャー)」または「LINE IN」のときは表示されません。

*3 それまでの設定によってはAll SRC以外の他のソース(音源)名が表示されることがあります。([60]ページ参照)

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

PSMモードの機能説明(1)

PSMメニュー：MOVIE

Graphics

表示窓のデモ表示を設定します。

- All Demo* : 20秒以上何も操作をしないとデモ表示になります。
- Int Demo : 20秒以上何も操作をしないとソース(音源)表示が20秒間隔でデモ表示になります。
- Off : デモ表示なし。

From-To*

設定された時間になるとディマーが自動で働きます。Fromで設定された時間になると自動でディマーがオンになり、Toで設定された時間になると自動的にオフになります。

* From-Toの項目は「Dimmer」を「Time Set」に設定していない場合には表示されません。

* All Demoのデモ表示

車やスポーツシーン、景色、EQ設定アニメ等をボジ↔ネガで表示します。なお Int Demo (Interval)に切換えると、EQ設定アニメやボジ/ネガの反転表示はしません。

KeyIn CFM

電源のオン/オフ、ソース(音源)切換え、EQの選択時などに表示される動画アニメを設定します

- Long : すべてのアニメを表示します。
- Short : ソース(音源)切換えのアニメのみ表示します。
- Off : SRCアニメなし

Contrast

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- Contrast 1~10の範囲で調節できます。

LCD Type

お好みに合わせて表示窓のタイプを選ぶことができます。

- Positive : 通常のタイプ(ボジ)
- Negative : 通常の反転表示(ネガ)
- Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。

ライト「OFF」: Positive

ライト「ON」: Negativeに変わる。

(本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続しておきます)

PSMメニュー：DISP(ディスプレイ)

Scroll

表示窓の文字表示(11文字以上)がスクロール表示されるときのモードを変えることができます。

- Once : 名前表示を切換えたとき1回スクロールする。
- Auto : 一定間隔でスクロールをくり返す。
- Off : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロールする。

なお、放送局名は、スクロール表示されません。

Font Type

表示される文字の書体を選ぶことができます。

1 :



2 :



Dimmer

表示窓および各ボタンの明るさを状況に応じて変えることができます。

- Auto : 車両のライトを「ON」にすると変わります。
(本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続しておきます)
- Off : 変りません。
- On : 常時暗くなります。
- Time Set : 「From-To」で設定した時間になると自動的にディマーが働きます。

Tag

MP3ディスクのID3 tag表示を「オン/オフ」することができます。

- On : ID3 tag表示をする。
- Off : ID3 tag表示をしない。

PSMモードの機能説明(2)

PSMメニュー : AUDIO

Beep

ボタン操作時の「ピッ」音を「オン/オフ」することができます。

- ・On : ビープ音あり
- ・Off : ビープ音なし

Ext Input

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは、「Line In」に切換えます。

- ・Changer : CDチェンジャーをつないだとき
- ・Line In : 他の機器をつないだとき

(ソース(音源)を「CD-CH(CDチェンジャー)」または「LINE IN」以外にしてから切換えます。)

SELボタンを使った各種設定と調節(つづき)

各ソース(音源)ごとにお好みのカラーを設定する

本機では、FM/AM/DISC/CD-CH(CDチューナー)ごとに表示窓の色を12色のパターンから選んで設定することができます。また、お好みに合わせてオリジナル色に調節することもできます。(「カラーを調節する」[61]ページをご覧ください)

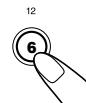
1 SELボタンを2秒以上押す



・PSMメニューが表示されます。

・2秒以上押す。

2 数字ボタンの6を押して 「Color」を選ぶ



・Colorの設定画面が表示されます。COLORがCOLORに変わります。

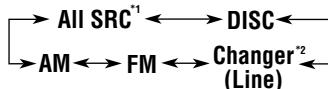
・例: All SRCでEveryが選ばれているとき



3 ▲または▼ボタンをくり返し 押して色を変えたいソース (音源)を選ぶ



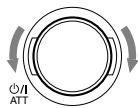
・ボタンを押すごとに、ソース(音源)の表示が切り替わります。



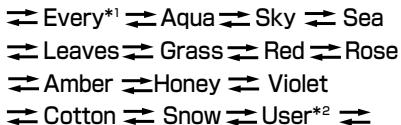
*1 「All SRC」を選ぶと、全てのソース(音源)が同じ色に設定されます。

*2 「Ext Input」の設定によって、ソース(音源)名が変わります。

4 回転ボリュームを回して、お好みのカラーを選ぶ



・回転ボリュームを回すと、ディスプレイの色は次のように切替わります。



*1 Everyは、AquaからSnowまで一定時間で変わります。

*2 Userはお好みのカラーに調節することができます。[61]ページの「カラーを調節する」をご覧ください。

5 手順3と4をくり返して、各ソース(音源)のカラーを選ぶ



・元のソース(音源)の表示に戻ります。

SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

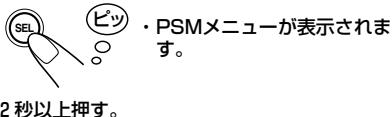
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- ソース(音源)ごとに異なるカラーを設定したいときは、手順3でAll SRCは選択しないでください。あとからAll SRCを選んでしまうと、以前の各ソースのカラーの設定が取り消されます。

カラーを調節する

本機では、User DayとUser Nightの2色を、好みに合わせて調節することができます。「Dimmer」の設定により、Userカラーが切換わります。

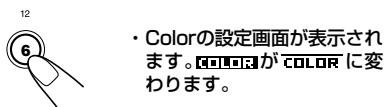
Day : Dimmerが「OFF」のとき
Night : Dimmerが「ON」のとき

1 SELボタンを2秒以上押す



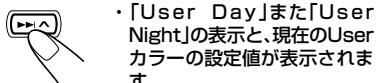
・PSMメニューが表示されます。

2 数字ボタンの6を押して「Color」を選ぶ



・Colorの設定画面が表示されます。COLORがCOLORに変わります。

3 ▶▶ボタンを押してカラー調節画面を表示させる



・「User Day」または「User Night」の表示と、現在のUserカラーの設定値が表示されます。



4 回転ボリュームを回して、DayまたはNightを選ぶ



Dayを選ぶ Nightを選ぶ

5 選んだUserカラーを調節する

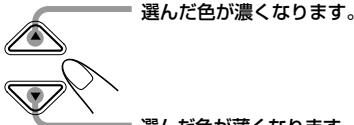
5-1

▶▶または◀◀ボタンを押して、R(赤)、G(緑)、B(青)のうち調節したい色を選ぶ



5-2

▲または▼ボタンを押して、選んだ色の濃さを調節する。



R、G、Bをそれぞれ0～11の範囲で調節します。数字が大きくなるほどそれぞれの色が強調されます。

(5-1と5-2をくり返す)

6 SELボタンを押して設定を終了する



・元のソース(音源)の表示に戻ります。

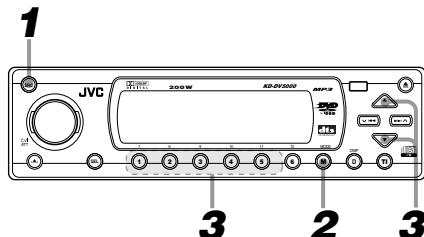
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

- ・設定したカラーは「各ソース(音源)ごとに好みのカラーを設定する」(回ページ参照)でUserを選択すると使用できます。
- ・本機のイルミネーションコードを車両のイルミ電源に接続し、「Dimmer」を「Auto」に設定しておくと、車両のライトを「ON/OFF」することによりUserカラーが切換わります。
- ・「Dimmer」を「Auto」または「Time Set」で使用するときは、DayおよびNightの両方を調節することをお勧めします。
- ・「Dimmer」と「LCD Type」については回ページをご覧ください。

〈お知らせ〉

- ・各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。

MODEボタンの使いかた

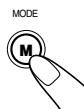


1 ソース(音源)を選ぶ



- ・ボタンを押すごとにソース(音源)が切換わります。
→[2]ページ参照

2 MODEボタンを押す



- ・「Mode」が表示されカウントダウン表示が5秒間表示されます。
このとき使える数字ボタンのモードが表示されます。

例: CDのとき

カウントダウン表示



3 数字ボタンを押して使いたいモードを選ぶ

- ・FM放送のとき



「Stereo/Mono」の切換え
→[7]ページ参照



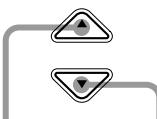
ストロングステーションメモリー
SSM
→[5]ページ参照

- ・DISC、CD-CH(CDチェンジャー)のとき



INTRO リピート ランダム 再生モード
スキャン 再生 再生 を解除する

→[41]～[42]、[48]、[49]ページ参照



トラックを10ずつ スキップ(順方向) トラックを10ずつ
スキャン(逆方向)

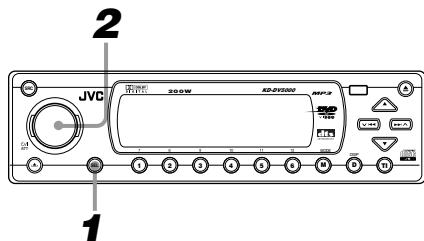
→[39]、[46]ページ参照

〈お知らせ〉

- ・MODEボタンを押したあとは、5秒以内(カウントダウン表示が消えるまで)に次の操作をしてください。

レベルメーターの表示切換え

- 表示窓にレベルメーターを表示させることができます。



1 SELボタンをくり返し押して「METER」を選ぶ

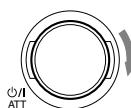


・押すごとに次のように
に変わります。



5秒以内に

2 回転ボリュームを回してレベルメーターのパターンを選ぶ



・左方向に回すと逆に選べます。

- Off : メーター表示なし
(お買い上げ時の状態)
- 1 : パータイプの
メーター
- 2 : スピーカー表示が
音に合わせて振動
- 3 : アナログ式メーター

- ・レベルメーター：1



- ・レベルメーター：2



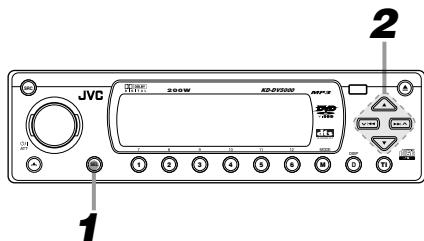
- ・レベルメーター：3



音量の調節

スピーカーの音量を調節する

左右のスピーカーからの音声の出力バランスや、前後の出力バランスを調整します。



1 SELボタンをくり返し押して「Fad/Bal」を選ぶ



・押すごとに次のように
に変わります。



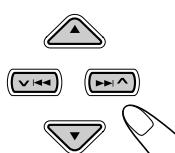
・音量(Volume)のみ調節するときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 Fadを▲/▼ボタン、Balを◀◀/▶▶ボタンで調節する



▲/▼ボタンを押すと
Fadが、◀◀/▶▶ボタ
ンを押すとBalがそれ
ぞれ調節できます。

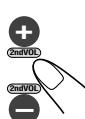


- ▲ : リアの出力を下げる
- ▼ : フロントの出力を下げる
- ◀◀ : 右チャンネルの出力を下げる
- ▶▶ : 左チャンネルの出力を下げる

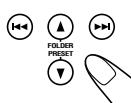
● 音量の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
Fad (フェーダー)	00 (センター)	リア フロント R06～F06
Bal (バランス)	00 (センター)	ライト レフト R06～L06
Vol Adj (ソース間音量)	00	-12～00～+12
Volume (音量)	15	0～50

リモコンで操作する



音量(Volume)のみ調節する
ときは、+/-ボタンを直接押
します。



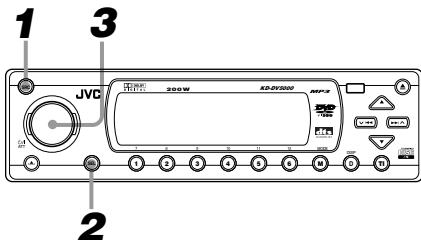
Fad/Bal調節画面は、リ
モコンのSELボタンを押
しても表示できます。
Fad/Bal調節画面を表示
後、本体の操作と同様に▲/▼ボタンで
Fadが、◀◀/▶▶ボタンでBalが調節でき
ます。

〈お知らせ〉

- Fad(フェーダー)調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。

ソース(音源)ごとの音量差を調節する

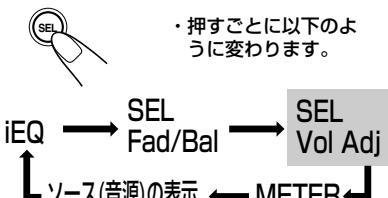
AM放送やLINE INなどの音がFM放送の音より小さい(または大きい)ときは、音量差を調節することができます。



1 調節したいソース(音源)を選ぶ

- AM、DISC、CDチェンジャーまたはLINE INから選びます。

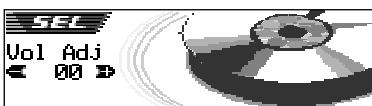
2 SELボタンをくり返し押して「Vol Adj」を選ぶ



5秒以内に

3 回転ボリュームを回してソース(音源)の音量を調節する

- 例: DISCのとき



• 調節範囲
-12~00~-+12

音量を下げる
音量を上げる

- 調節したレベルが表示窓に表示されます。
- ソース(音源)が「FM1」または「FM2」のときは、表示窓にレベル表示の代わりに「Fix」が表示され、調節できません。

- 調節から5秒後に、自動でソース(音源)の表示に戻ります。

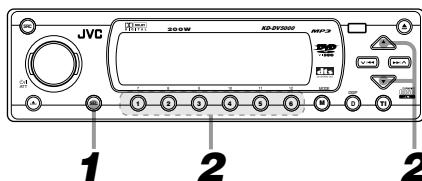
〈お知らせ〉

- Vol Adj(ソース間音量)は、FM放送の音量を基準にしています。したがってソース(音源)がFMのときは、表示窓に「Fix」が表示され調節できません。

また、「道路交通情報を聞く(→**7**ページ参照)」のときも、「Fix」が表示され調節できません。

iEQ*の使いかた

- 本機には、あらかじめ12のiEQパターンがメモリーされています。



●選択可能なEQパターン

- Flat (フラットな音で出力されます)
- H.ROCK (ハードロック)
- R & B (リズム&ブルース)
- POP (ポップ)
- JAZZ (ジャズ)
- DANCE (ダンスマュージック)
- Country (カントリー)
- REGGAE (レゲエ)
- CLASSIC (クラシック)
- USER 1
- USER 2
- USER 3

●EQパターンの呼び出し

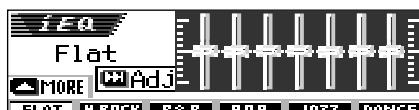
1 SELボタンを押す



最後に選んだEQパターンが表示されます。

お買い上げ時は「Flat」が表示されます。

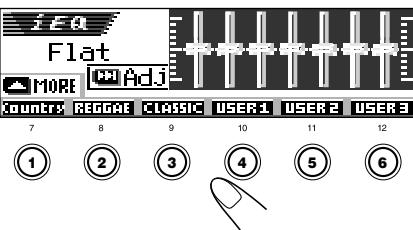
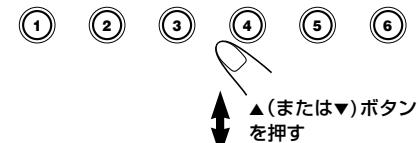
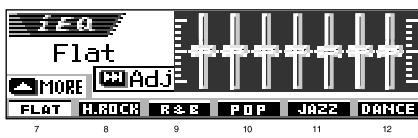
例：最後に「Flat」が選択されていたとき



* iEQは：
intelligent Equalizer(インテリジェントイコライザー)の略で等化器とも呼ばれ、周波数特性に変化を与える回路の総称。

2 数字ボタン(1~6)でEQパターンを選ぶ

EQパターンの選択画面は2画面構成になっています。▲(または▼)ボタンを押すと画面が切替わります。



・5秒後にソース(音源)の表示に戻ります。
選んだEQパターンで聞くことができます。

リモコンで操作する

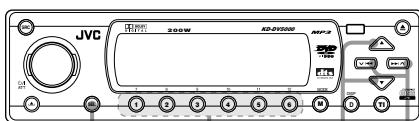


EQボタンを押すごとに、EQパターンが切替わります。

〈お知らせ〉

- User 1~User3には、ご自分で調節したEQのバンドとレベルがメモリーできます。→67ページ参照
お買い上げ時はFlatと同じEQパターンになっています。
- Hard Rock~Classicには、ご自分で調節したEQパターンはメモリーできません。
- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタン(→47ページ参照)を押すと調節したEQパターンはFlatと同じEQパターンに戻ります。

調節したEQをメモリーしておく

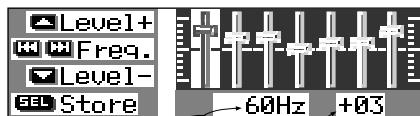


1 調節したいEQパターンを選ぶ

→66ページ手順1・2参照

5秒以内に

2 ▶ボタンを押してEQの調節モードにする

バンド：
3-1の操作で変わる
EQレベル：
3-2の操作で変わる

以下の項目が調節できます。

バンド	EQレベル
60 Hz	-05~00~+05
150 Hz	-05~00~+05
400 Hz	-05~00~+05
1 kHz	-05~00~+05
2.4 kHz	-05~00~+05
6 kHz	-05~00~+05
12 kHz	-05~00~+05

15秒以内に

3 EQを調節する

3-1 ▶(または◀)を押してバンド(60Hz, 150Hz, 400Hz, 1kHz, 2.4kHz, 6kHz, 12kHz)を選ぶ

3-2 ▲(または▼)ボタンを押してEQレベルを調節する

3-3 手順3-1～3-2をくり返す

15秒以内に

4 SELボタンを押す



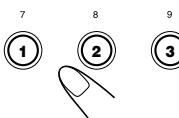
調節したEQのバンドとレベルをメモリーする確認画面になります。



・取り消すときは、DISP(D)ボタンを押します。

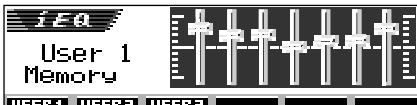
15秒以内に

5 数字ボタン(1～3)を押してメモリーしておくパターン(USER 1～USER 3)を選ぶ



「Memory」が表示され、調節したEQのバンドとレベルがメモリーされます。

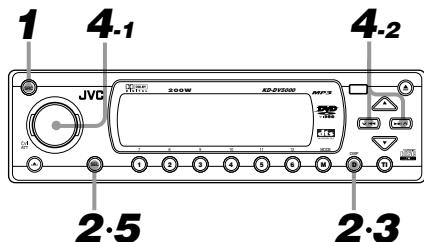
・例：User 1にメモリーするとき



文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

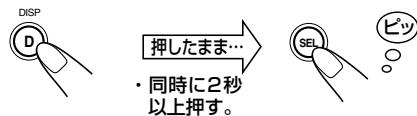
30局分/最大10文字の放送局名と40枚分/最大32文字のディスク名、最大8文字のLINE INの名称を登録しておくことができます。



1 文字を入力したいソース（音源）を選ぶ

- FM、AM、DISC、CD-CH(CDチェンジャー)またはLINE INのいずれかを選びます。

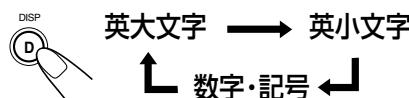
2 DISPボタンを押したまま SELボタンを同時に2秒以上押す



- 例：DISCのとき



3 DISPボタンで文字の種類を選ぶ

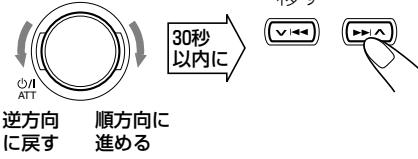


- 文字の種類についてはの⁷⁵ページの「文字配列表」をご覧ください。

4 回転ボリュームと▶▶ボタンで文字を入力する

4.1 文字を選び…

4.2 カーソルを右に移す



(4.1と4.2をくり返す)

- 文字を間違えたときは◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。スペース(空白)を選んで▶▶ボタンを押すと、文字を消すこともできます。

5 SELボタンを押して入力を確定する



- 入力した文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。

〈お知らせ〉

- CDテキストには、ディスク名の登録ができません。
- 31局目の放送局名または41枚目のディスク名を入力しようとしても、「Name Full」が表示されて入力モードに入ることはできません。この場合、あらかじめ不要な名称を削除してから再度入力してください。
- 全てスペース(空白)を入力し、確定すると名称を削除することができます。

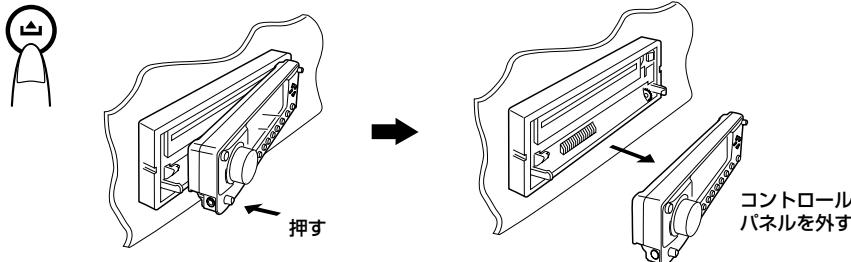
コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

1 **①** **②** (電源)/ATTボタンを1秒以上押して電源を「切」にする

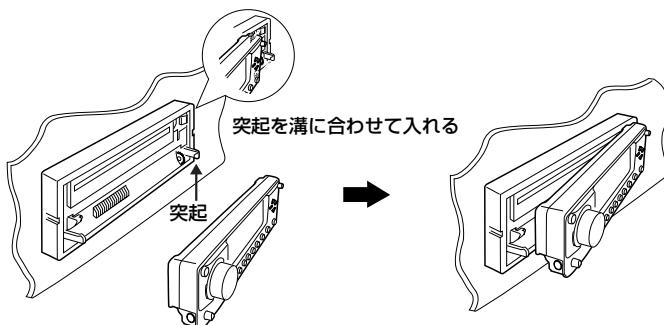


2 **△** (コントロールパネル取外し)ボタンを押す

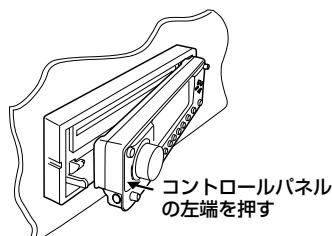


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



2 コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す

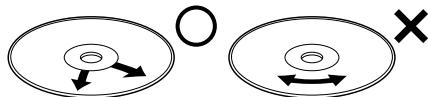


お手入れ

ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。



必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

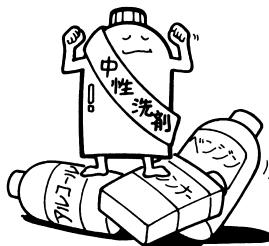
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などでからぶきしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためことがあります。



故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状

原 因 ・ 処 置

どのボタンを押しても
正しく動作しない。

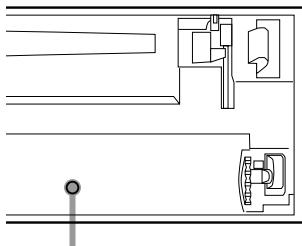
- 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。
→リセットボタンを押す。
(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)

操作のしかた

1 コントロールパネルを外す

→[回](#)ページ参照

2 リセットボタンをボールペンの先などで軽く押す



リセットボタン

3 コントロールパネルを取り付ける

→[回](#)ページ参照

電源を切ったが「ATT」
表示が点滅する。

- **電源(ACC)** / ATTボタンをパワーオフアニメが表示されるまで…1秒以上…押す。

電源が入らない。

- [電源(ACCライン)]のコードが接続されていないため。
- 車のエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」のため。
→[回](#)ページ参照

ディスクの取り出しが
できない。

- 盗難防止状態になっている。
→ SRCボタンを押したまま**電源(ACC)** / ATTボタンを同時に2秒以上押す。→[回](#)ページ参照
- 本体のSRCボタンを押したままSELボタンを押す。
(強制Eject)

故障かな?と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 处 置
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">●ビデオコードを正しく接続していない →正しく接続する。●テレビの入力選択が間違っている。 →正しく選択する。
映像の左右が途切れて表示される。	<ul style="list-style-type: none">●TVタイプで「パンスキャン」が選択されている。 →映像メニューで「レターボックス」を選択する →54ページ参照
言語メニューで設定したものと異なる音声言語で再生される。	<ul style="list-style-type: none">●設定した音声言語がディスクに収録されていない。●ディスクによっては、再生開始時の音声があらかじめ決められているものがあります。 →再生後にAUDIO(○○)ボタンを押して音声を切換える。→54ページ参照
言語メニューで設定したものと異なる字幕言語で再生される。	<ul style="list-style-type: none">●設定した字幕言語がディスクに収録されていない。●ディスクによっては、再生開始時の字幕言語があらかじめ決められているものがあります。 →再生後にSUBTITLE(□□)ボタンを押して字幕言語を切換える。→55ページ参照
CDを入れても音がない。	<ul style="list-style-type: none">●音量を適度に調節する。●内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。●CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 →ディスクのマークを確認する。→19ページ参照
CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスク上でスキップができない。	<ul style="list-style-type: none">●ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。
「ピッピッピッ」音のあと「Please Eject」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">●ディスクが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてディスクを入れ直す。

症 状	原 因 ・ 処 置
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機の[アンテナコントロール電源]コード(青)を正しく接続する。 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。 →本機の[アンテナコントロール電源]コード(青)をこの端子に接続する。 放送局の周波数に正しく合わせる。 携帯電話などを本機から離す。
ディスクの出し入れやコントロールパネルを開けたとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> これらの動作のときは、音声にミューティングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。
MP3ディスク再生中にDISPボタンを押したとき、フォルダ名やファイル名が「_」表示になる。	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ名やファイル名が半角の英数字以外で入力されている。 →44ページ参照
CDの1曲目が「00' 00」表示のままで再生しない。	<ul style="list-style-type: none"> Mixed-CDで記録されている。 →数字ボタンなどを押して2曲目以降にスキップする。 Mixed-CDについては別冊の「音楽用ファイルMP3について」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

故障かな?と思う前に(つづき)

こんな表示のときは

表示

原因・処置

NO NAME

- ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。
→ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。
- 放送局名が入力されていないときDISPボタンを押したため。
→放送局名を入力する。

Please Eject

- DVDビデオ/CDの読み取りでエラーが発生したため。
- CD-R/RWに記録したデータが劣化している
(→ページ)
- ファイナライズ処理がされていない。(→ページ)
→▲(ディスク取り出し)ボタンを押したあとディスクを入れ直す。または他のディスクを入れ直して本機が異常でないか確かめる。

「走行中は映像を見ることができません。音声をお楽しみください」が表示される。
(DVDビデオ、ビデオCDのときのみ)

- 交通安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみとなります。
また停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。

LOW TEMP. が表示され動画アニメが動かない。

- 冬期低音下に長時間駐車したため本機の温度が0°C以下になっている。
→そのままラジオを聞くなどして本機の温度が上昇するまで待つ。

●CDチェンジャー

Reset 8

- CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。
→CDチェンジャーとの接続コードを確認する。

Reset ○
数字

- CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。
→CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

No Disc

- CDが入っていないトレーを選んだ場合で、ディスクなしが検出されたとき。
→CDを入れる。

知っていると便利なこと

文字配列表

●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%		,	()	*	
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	-	'	(空白)					

〈お知らせ〉

- 本機は、この[文字配列表]以外の文字・記号は入力できません。

デジタル出力信号の一覧表

本体背面のデジタル音声出力端子ーDIGITAL OUTーから出力される信号は、入力される信号と本機の「デジタルOUT」の設定により次のように変わります。(→図ページ参照)

再生する信号	DIGITAL OUT端子から出力される信号		
	PCMのみ	ドルビーデジタル /PCM	ストリーム/PCM
DVDビデオ	48 kHz、16/20/24ビットリニアPCM		
48 kHz、リニアPCM	48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM*		
96 kHz、リニアPCM	出力しない		
ドルビーデジタル	48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM	ドルビーデジタルピットストリーム	
DTS	48 kHz、16ビットステレオのリニアPCM	DTSピットストリーム	
ビデオCD/オーディオCD	44.1 kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	44.1 kHz、16ビットステレオのリニアPCM	DTSPiットストリーム	
MP3のCD-R/CD-RWディスク	リニアPCM		

- *著作権保護の設定がされていないDVDビデオでは、20ビットまたは24ビットで出力されるものがあります。

知っていると便利なこと(つづき)

言語コード一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	IK	イヌピック語	RN	キルンディ語
AB	アブハジア語	IN	インドネシア語	RO	ルーマニア語
AF	アフリカーンス語	IS	アイスランド語	RU	ロシア語
AM	アムハラ語	IW	ヘブライ語	RW	キニヤルワンダ語
AR	アラビア語	JI	イディッシュ語	SA	サンスクリット語
AS	アッサム語	JW	ジャワ語	SD	シンド語
AY	アイマラ語	KA	グルジア語	SG	サンド語
AZ	アゼルバイジャン語	KK	カザフ語	SH	セルボアクロアチア語
BA	バシキール語	KL	グリーンランド語	SI	シンハラ語
BE	ベラルーシ語	KM	カンボジア語	SK	スロバキア語
BG	ブルガリア語	KN	カンナダ語	SL	スロベニア語
BH	ビハーリー語	KO	韓国(朝鮮)語	SM	サモア語
BI	ビスマラ語	KS	カシミール語	SN	ショナ語
BN	ベンガル語、パングラ語	KU	クルド語	SO	ソマリ語
BO	チベット語	KY	キルギス語	SQ	アルバニア語
BR	ブルトン語	LA	ラテン語	SR	セルビア語
CA	カタロニア語	LN	リンガラ語	SS	シスワティ語
CO	コルシカ語	LO	ラオス語	ST	セストゥ語
CS	チェコ語	LT	リトニア語	SU	スンダ語
CY	ウェールズ語	LV	ラトビア語、レット語	SV	スウェーデン語
DA	デンマーク語	MG	マダガスカル語	SW	スワヒリ語
DZ	ブルータン語	MI	マオリ語	TA	タミール語
EL	ギリシャ語	MK	マケドニア語	TE	テルグ語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TG	タジク語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TH	タイ語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TI	ティグリニヤ語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TK	トルクメン語
FI	フィンランド語	MS	マライ(マレー)語	TL	タガログ語
FJ	斐ジー語	MT	マルタ語	TN	セツワナ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TO	トンガ語
FY	フリジア語	NA	ナウル語	TR	トルコ語
GA	アイルランド語	NE	ネパール語	TS	ツォンガ語
GD	スコットランドゲール語	NL	オランダ語	TT	タタール語
GL	ガルシア語	NO	ノルウェー語	TW	トウェイ語
GN	グアラニ語	OC	プロバンス語	UK	ウクライナ語
GU	グジャラード語	OM	(アフォン)オロモ語	UR	ウルドゥー語
HA	ハウサ語	OR	オリヤー語	UZ	ウズベク語
HI	ヒンディー語	PA	パンジャブ語	VI	ベトナム語
HR	クロアチア語	PL	ポーランド語	VO	ヴラビュク語
HU	ハンガリー語	PS	パシュトー語	WO	ウォロフ語
HY	アルメニア語	PT	ポルトガル語	XH	コーサ語
IA	国際語	QU	ケチュア語	YO	ヨルバ語
IE	国際語	RM	ラエティ-ロマン語	ZU	ズール語

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

⑦～⑭ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	□() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

DVD/CDプレーヤー部

- 再生可能ディスク：DVDビデオ、ビデオCD、オーディオCD、CD-R/RW（ビデオCD、オーディオCD、MP3フォーマット）
- 映像信号方式：JEITA標準、NTSCカラービジョン方式
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：DVD
(サンプリング周波数96kHz)
16Hz～44kHz
(サンプリング周波数48kHz)
16Hz～22kHz
CD
(サンプリング周波数44.1kHz)
16Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：96dB
- S/N比：96dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)

FMチューナー部

- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43μV/75Ω)

AMチューナー部

- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dBμ(22.4μV)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4Ω、1kHz)
リア 50W+50W
(4Ω、1kHz)
- 適合インピーダンス：4Ω(4Ω～8Ωで使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
- 出力端子：LINE OUT(2系統)
2.0V/1kΩ
DIGITAL OUT(×1)
-21dBm～-15dBm
- 映像出力端子：VIDEO OUT(×1)
(コンポジット) 1.0V(p-p)/75Ω、同期負

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm
×奥行158mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm
×奥行174.5mm
- 質量：約1.7kg(付属品含まず)

付属品

- ・リモコン：RM-RK210 1
- ・電池(CR2025) 1
- ・接続コード(16ピンコネクター) 1
- ・ネジ(M5×8mm) 4
- ・皿ネジ(M5×8mm) 4
- ・コードコネクター 1

別売りのオプション品

- RCA PINコード：CN-505E(長さ 0.5m)
CN-510E(長さ 1m)
CN-520E(長さ 2m)
- ビデオコード：VX-105E(長さ 0.5m)
VX-110E(長さ 1m)
VX-120E(長さ 2m)
- 光デジタルケーブル：XN-110SA(長さ 1m)
XN-120SA(長さ 2m)
- 変換コード：KS-U57

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。 DTSおよびDTS Digital Outは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- 本機はコピー・プロテクション技術が採用されています。このコピー・プロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許などの知的財産権を所有しており、この技術を利用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオのロゴは商標です。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

F 0120-977-846 (フリーコール)

FAX(027) 254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>
カーアV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC
MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12